

令和6年度

# 県政世論調査

結果報告書

〈概要版〉

令和6年11月

福島県



# 目次

	頁
I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査実施概要	1
3. 調査項目	1
4. 回答者の構成	2
II 調査結果の解説	
1. 復興等に関する情報発信について	
(1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報	5
(2) 復興状況や新しい取組に関する情報の入手先	6
(3) 福島県の広報活動についての満足度	7
(4) 福島県の現状について県外に伝えたいこと	9
2. 安全で安心な県づくりについて	
(1) 地域の安全・安心についての評価	10
3. 福島県の総合計画について	
(1) 福島県の現状についての評価	12
4. 福島イノベーション・コースト構想について	
(1) 福島イノベーション・コースト構想について知っている取組	15
(2) 福島イノベーション・コースト構想を推進するため、 県に強化してほしい取組	17
(3) 福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策	18
5. 県内のプロスポーツチームについて	
(1) 県内のプロスポーツチームへの関心	19
(2) 試合を現地で観戦しない理由	20
6. チャレンジふくしま県民運動について	
(1) チャレンジふくしま県民運動の認知状況	21
(2) 心身の健康づくりの実践状況	22
(3) 心身の健康づくりの実践頻度	23
(4) 心身の健康づくりを実践していない理由	24
7. エシカル消費（倫理的消費）について	
(1) 「エシカル消費」という言葉の認知状況	25
(2) 「エシカル消費」という言葉の情報元	26
(3) エシカル消費につながる行動の実践状況	27
(4) エシカル消費につながる行動の実践内容	28
8. 自転車の安全利用について	
(1) 自転車の利用頻度	30
(2) 自転車損害賠償保険の加入状況	31
(3) ヘルメットの着用の努力義務化の認知状況	32

(4) ヘルメットの着用の努力義務化の情報元.....	33
(5) ヘルメットの着用状況.....	34
(6) ヘルメットを着用しない理由.....	35
9. 地域の医療について	
(1) 体調不良時の対応.....	36
(2) かかりつけ医の有無.....	37
(3) 知っている医療関連サービス.....	38
(4) 保健や医療に関する情報の入手方法.....	39
(5) 保健や医療に関して知りたい情報.....	40
10. ロボット・ドローンの活用について	
(1) ロボット・ドローンの導入について.....	42
(2) ロボット・ドローンの利用について.....	43
(3) 自分の周りをドローンが飛ぶことについて.....	44
11. 農林水産業について	
(1) 農林水産物の購入や食生活で実践していること.....	45
(2) 農山漁村の役割として期待すること.....	46
12. 地域社会の安全・安心（治安）について	
(1) 居住地域の治安状況.....	47
(2) 治安状況が良いと思う理由.....	48
(3) 治安状況が悪いと思う理由.....	49
(4) 犯罪発生状況等の情報提供方法.....	50
(5) 犯罪に関して知りたい情報.....	51
(6) 警察に強化してほしい活動.....	52
(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪.....	53
(8) 身近に感じる不安.....	55

### Ⅲ 調査票様式

#### Ⅳ 過去に実施した県政世論調査項目一覧

##### 【本報告書利用にあたっての注意点】

1. 本文及び図表中の回答者の割合は百分比（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。  
したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計が100％にならないことがある。  
また、複数回答の質問では、比率の合計は100％を超えることがある。
2. 図表中の「n」は回答者総数（該当者への質問の場合は該当者数）のことで、100％が何人に相当するかを示す、比率算出の基数である。

# I 調査の概要



## 1. 調査の目的

県政の課題等について県民の意識やニーズを調査し、具体的な政策形成等の基礎的な資料とする。

## 2. 調査実施概要

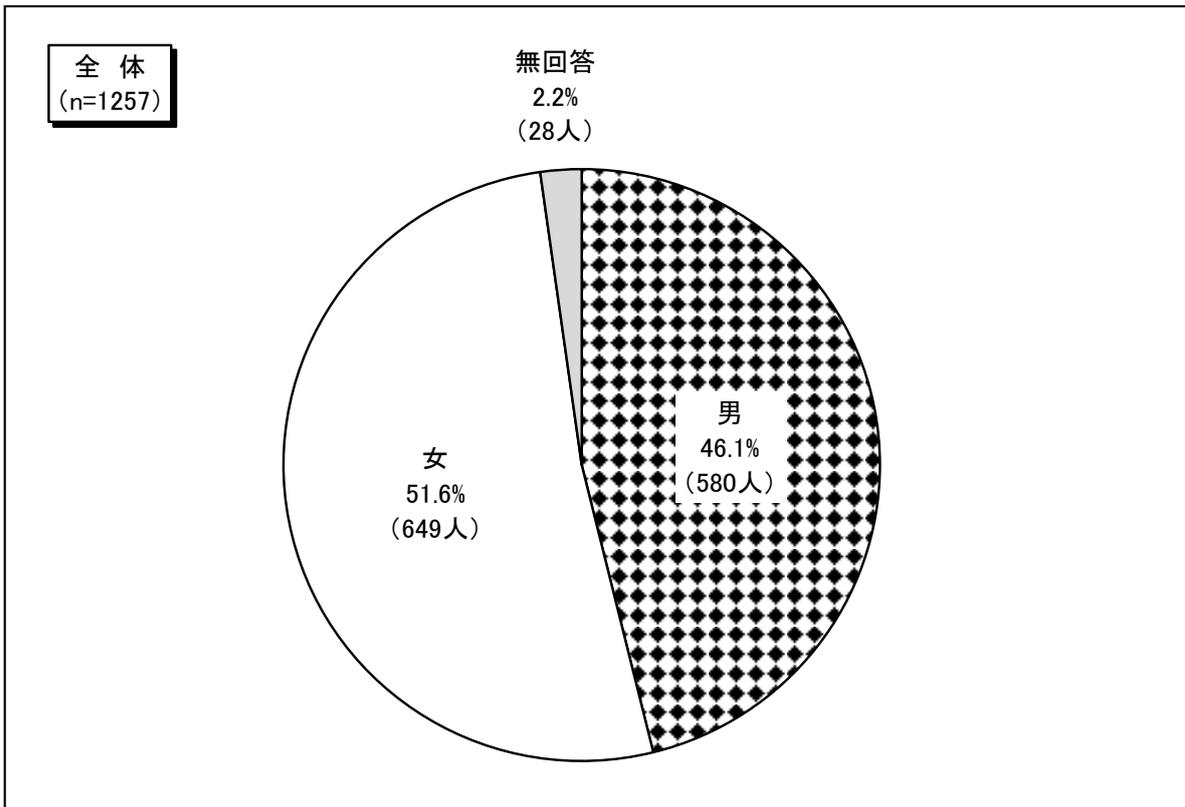
- |          |   |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 福島県全域（33市町村を抽出）   |
| (2) 調査対象 | 満15歳以上の男女個人   |
| (3) 標本数  | 2,000（人）  |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出<br>第1次抽出：「県北」「県中」「県南」「会津」「南会津」「相双」「いわき」の県内7地域をそれぞれ「総人口10万人以上の市」「総人口10万人未満の市」「郡部（町村）」の3グループに分け、各グループを1つの層とした。<br>各層の市町村別人口累積表により、等間隔に調査地点（市町村及び町丁・大字）を設定した。<br>第2次抽出：第1次抽出で得られた調査地点の住民基本台帳から、条件にあてはまる調査対象者個人を系統抽出した。 |
| (5) 基準日  | 令和6年7月1日<br>（抽出にあたっては上記年月日現在の満年齢を基準とした）   |
| (6) 調査方法 | ・郵送による調査票の配布<br>・郵送又はインターネットによる回答   |
| (7) 調査期間 | 令和6年6月25日～7月10日   |
| (8) 回収結果 | 有効回収数1,257（有効回収率62.9%）  |

## 3. 調査項目

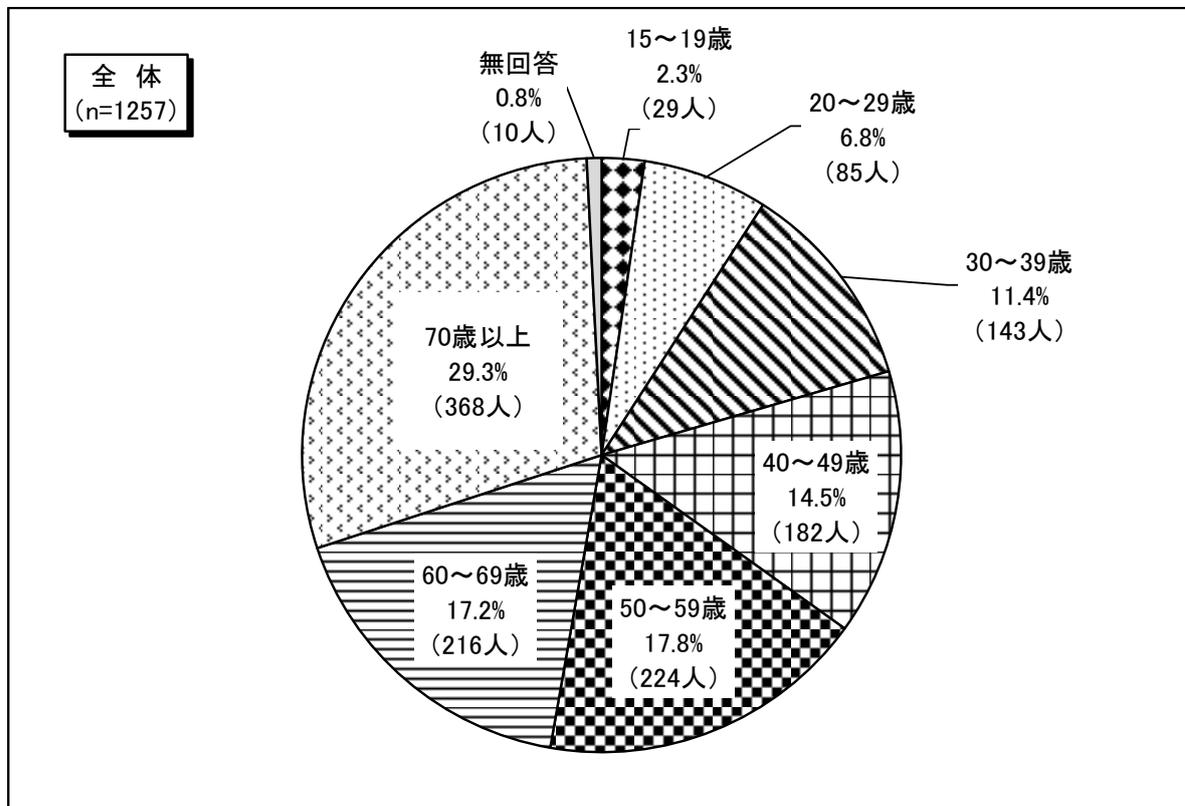
- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) 県内のプロスポーツチームについて
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) エシカル消費（倫理的消費）について
- (8) 自転車の安全利用について
- (9) 地域の医療について
- (10) ロボット・ドローンの活用について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

#### 4. 回答者の構成

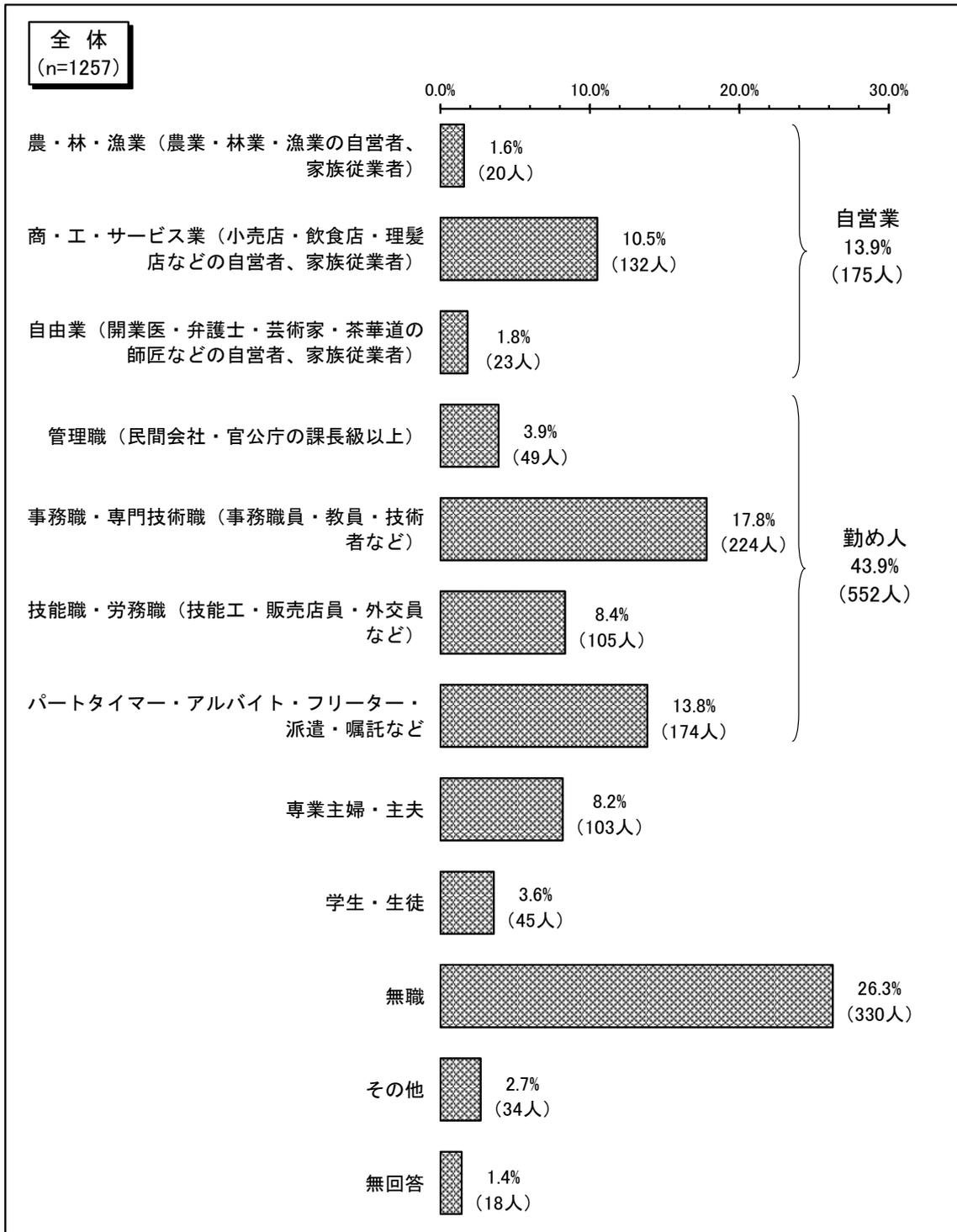
##### (1) 性別



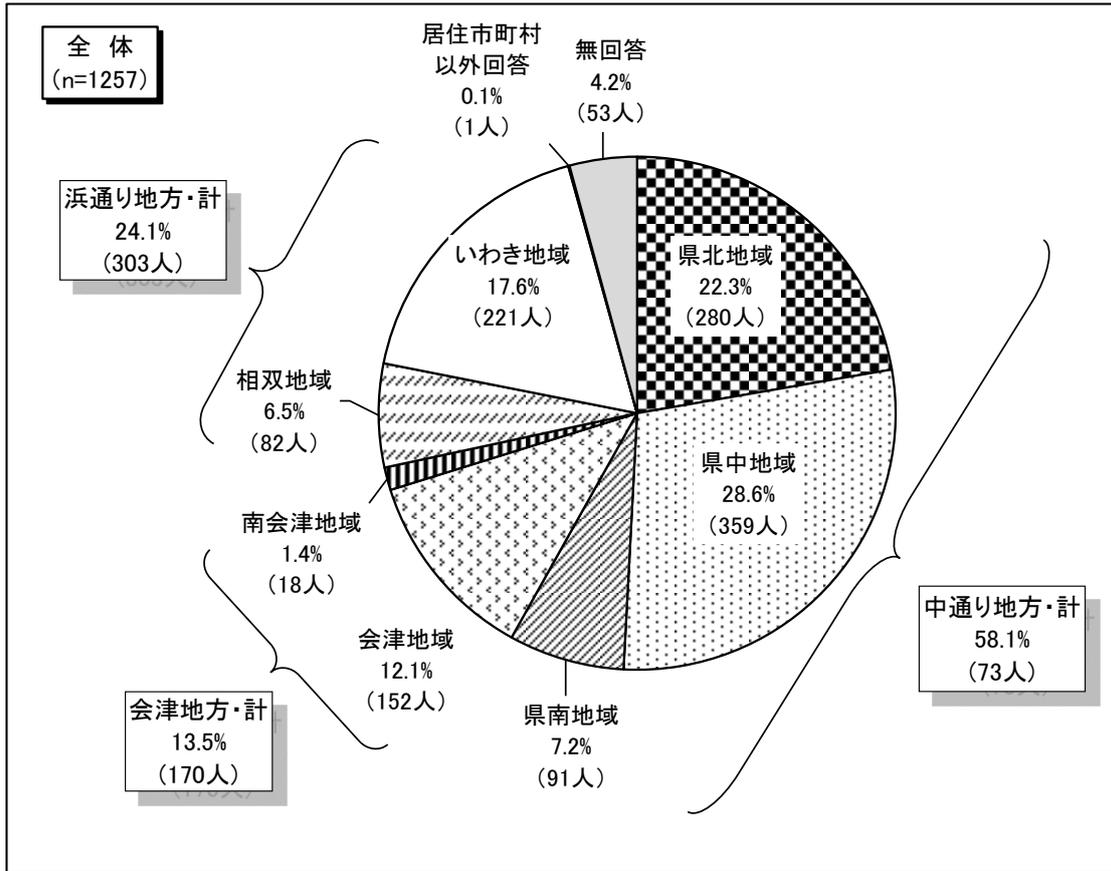
##### (2) 年齢



(3) 職業



(4) 居住地域



市町村別回答者数

		市町村名	回答者数 (人)	構成比 (%)
中 通 り 地 方	北地域	福島市	175	13.9
		二本松市	30	2.4
		伊達市	40	3.2
		本宮市	20	1.6
		桑折町	8	0.6
		川俣町	7	0.6
	中央地域	郡山市	233	18.5
		須賀川市	52	4.1
		田村市	24	1.9
		鏡石町	12	1.0
		石川町	9	0.7
		平田村	6	0.5
		小野町	11	0.9
	南地域	三春町	12	1.0
白河市		34	2.7	
西郷村		15	1.2	
泉崎村		7	0.6	
棚倉町		10	0.8	

		市町村名	回答者数 (人)	構成比 (%)
会 津 地 方	会津地域	会津若松市	81	6.4
		喜多方市	26	2.1
		北塩原村	11	0.9
		猪苗代町	10	0.8
		会津坂下町	15	1.2
		会津美里町	9	0.7
		A 下郷町	7	0.6
	南会津町	11	0.9	
浜 通 り 地 方	相双地域	相馬市	27	2.1
		南相馬市	36	2.9
		檜葉町	6	0.5
		新地町	13	1.0
B いわき市	221	17.6		
		居住市町村以外回答	1	0.1
		居住市町村別無回答	53	4.2
		全 体	1,257	100.0

A 南会津地域  
B いわき地域

## Ⅱ 調査結果の解説

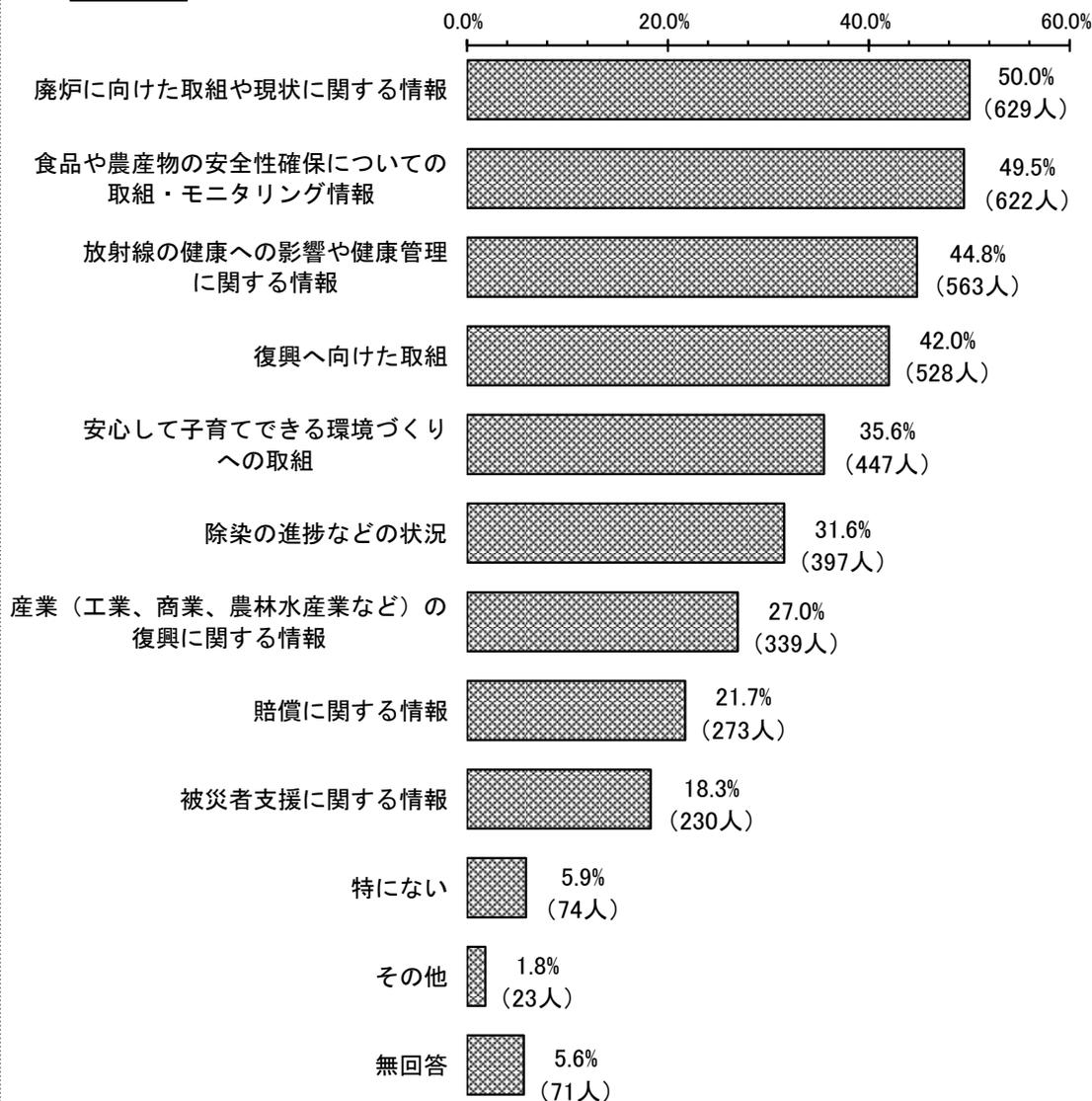


# 1. 復興等に関する情報発信について

## (1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

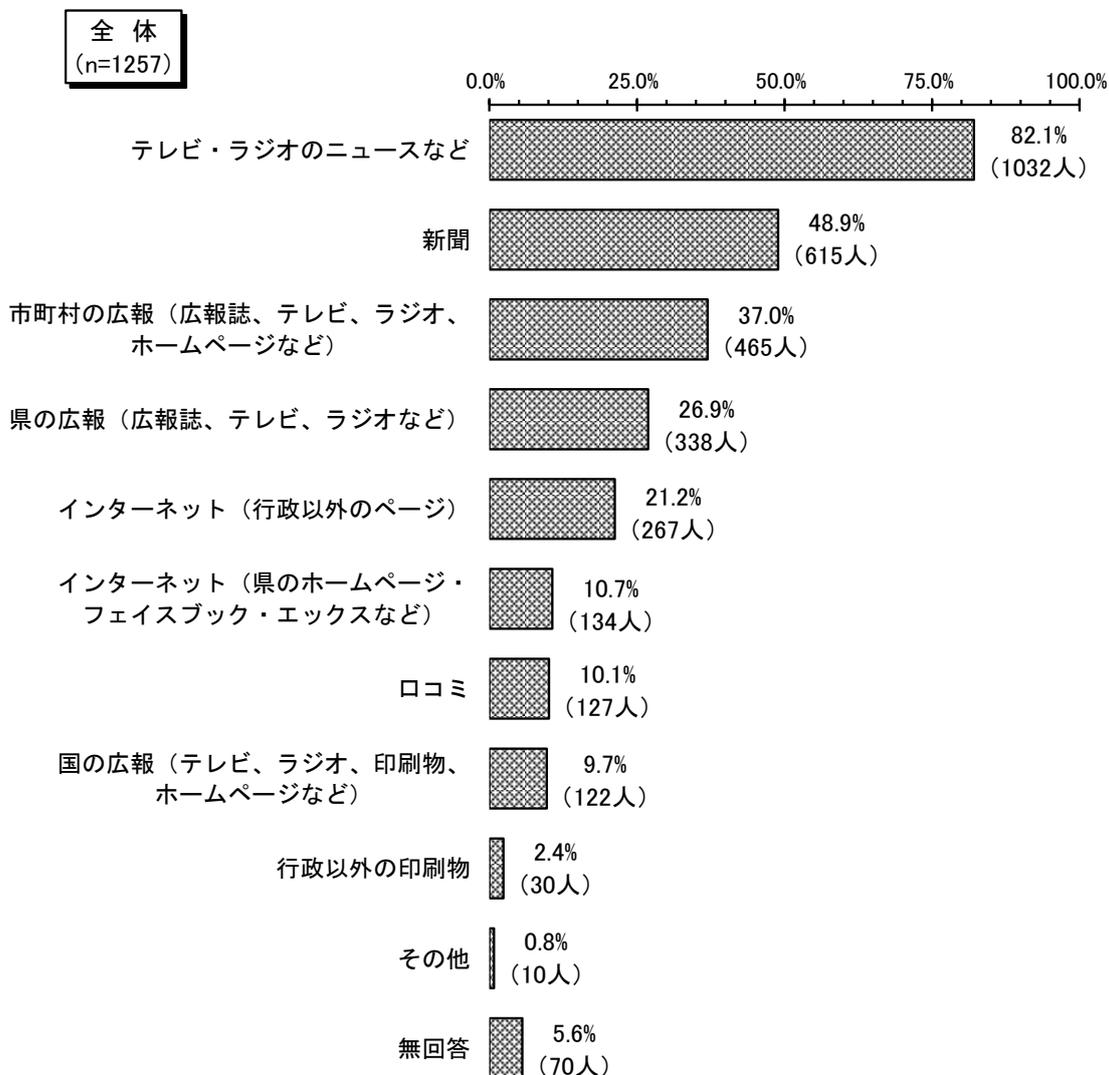
全体  
(n=1257)



震災・原発事故や復興について知りたい情報は、「廃炉に向けた取組や現状に関する情報」(50.0%)、「食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報」(49.5%)、が約半数となっている。以下、「放射線の健康への影響や健康管理に関する情報」(44.8%)、「復興へ向けた取組」(42.0%)が4割台、「安心して子育てできる環境づくりへの取組」(35.6%)、「除染の進捗などの状況」(31.6%)が3割台などとなっている。

## (2) 復興状況や新しい取組に関する情報の入手先

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



復興の状況や新しい取組に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオのニュースなど」(82.1%)が最も多く、8割強となっている。以下、「新聞」(48.9%)が約5割、「市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）」(37.0%)が3割半ば、「県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）」(26.9%)が2割半ばなどとなっている。

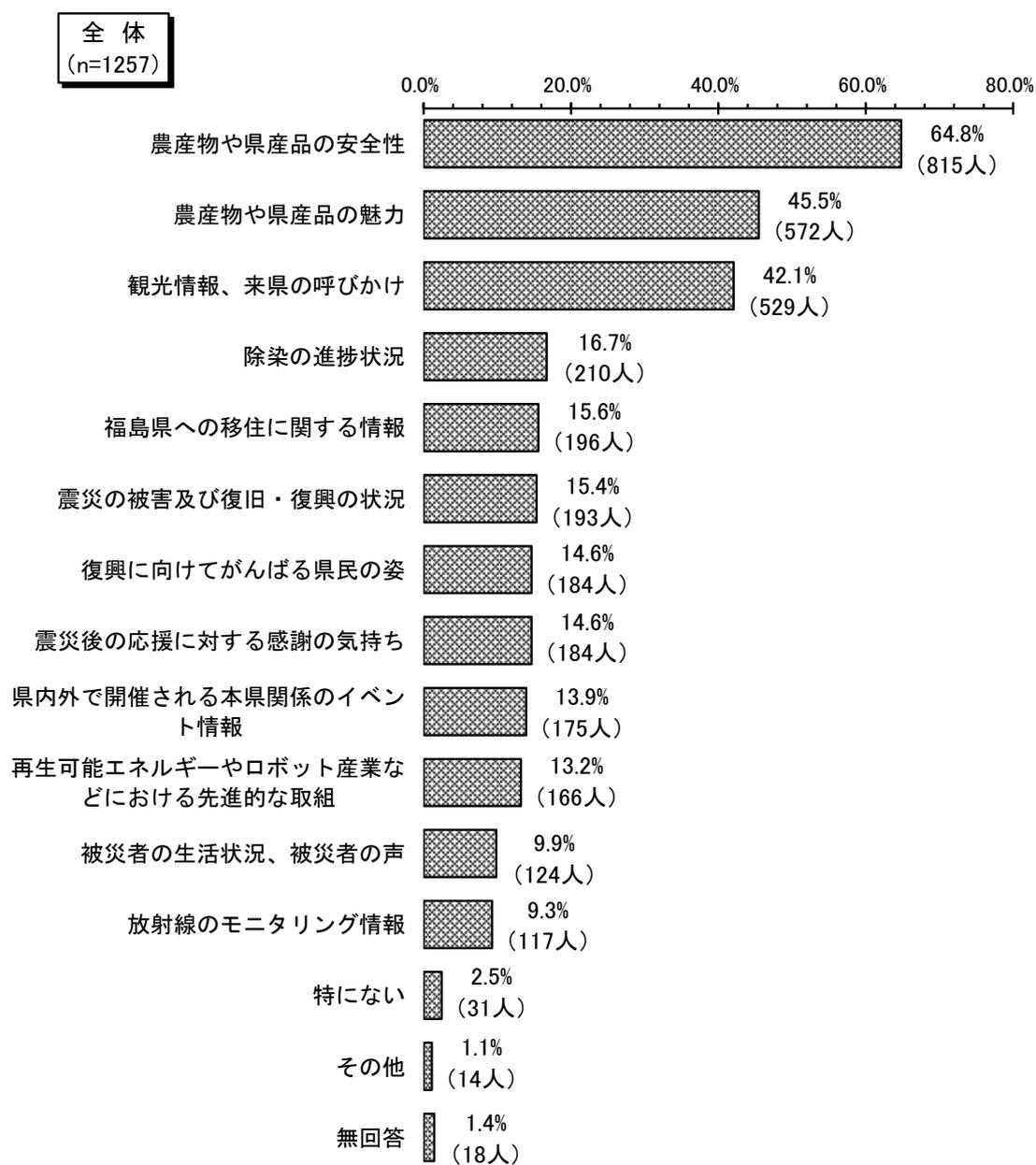


福島県の広報活動に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』計の割合をみると、〈イ 新聞『県政特集(福島民報・福島民友)』(41.3%)と〈ア 広報誌『つながる ふくしま ゆめだより』(40.3%)が約4割で高くなっている。以下、〈ウ テレビ『キビタンGO!(福島テレビ:毎週水曜日 20:54~20:58)』(28.1%)、〈エ テレビ『おしえてキビタン!(福島中央テレビ:毎週土曜日 20:54~20:57)(再放送 翌月曜日 11:25~11:30)』(26.4%)が2割台などとなっている。

一方、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた『満足していない』計の割合は、〈ア 広報誌『つながる ふくしま ゆめだより』(18.9%)が約2割で最も高くなっている。次いで、〈イ 新聞『県政特集(福島民報・福島民友)』(17.0%)が続いている。以下、〈カ インターネット:県ホームページ(12.3%)、〈ウ テレビ『キビタンGO!(福島テレビ:毎週水曜日 20:54~20:58)』(11.9%)、〈エ テレビ『おしえてキビタン!(福島中央テレビ:毎週土曜日 20:54~20:57)(再放送 翌月曜日 11:25~11:30)』(11.3%)などとなっている。

#### (4) 福島県の現状について県外に伝えたいこと

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



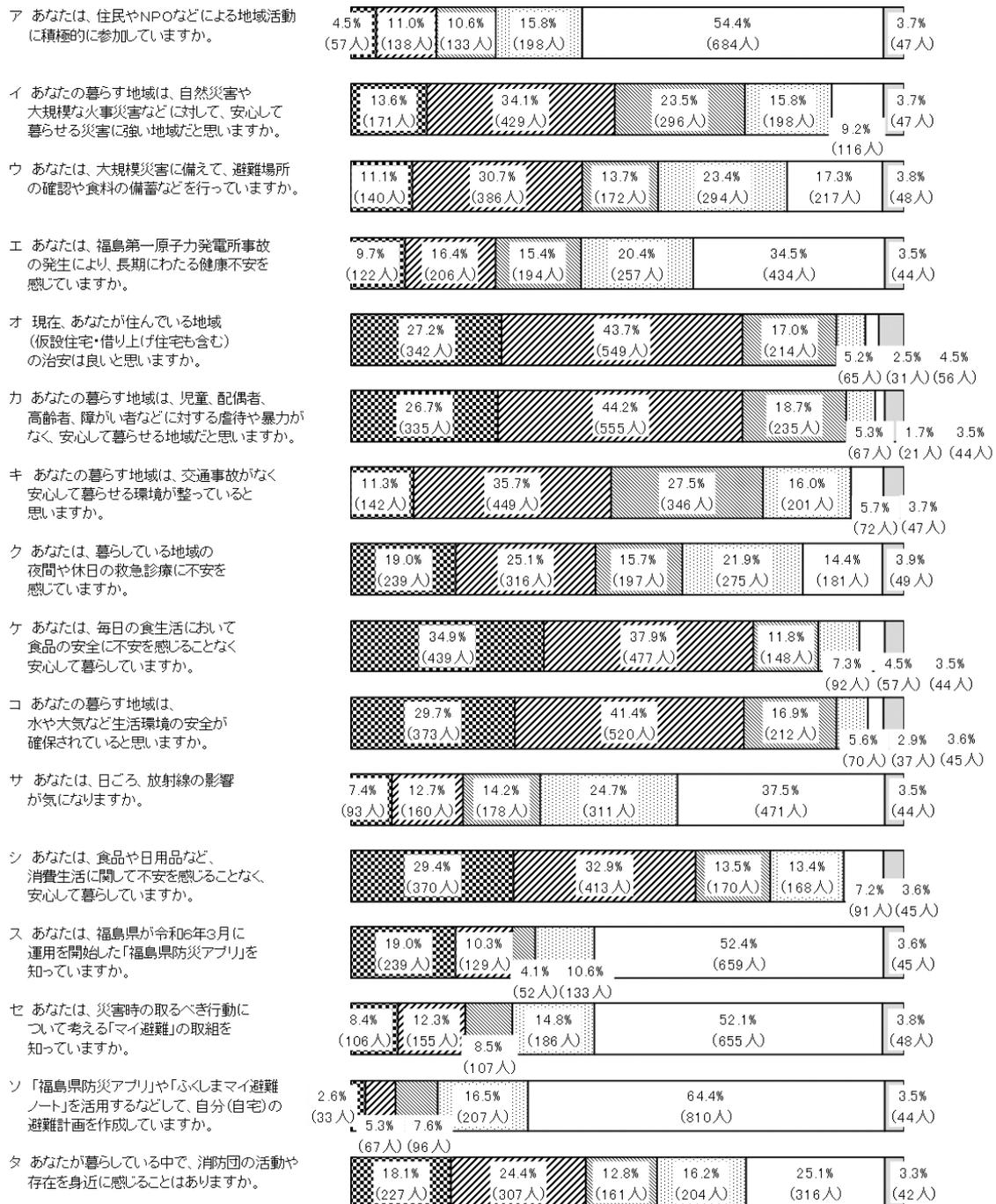
福島県の現状について県外に伝えるべきことは、「農産物や県産品の安全性」(64.8%)が最も多く、6割半ばとなっている。以下、「農産物や県産品の魅力」(45.5%)、「観光情報、来県の呼びかけ」(42.1%)が4割台などとなっている。

## 2. 安全で安心な県づくりについて

### (1) 地域の安全・安心についての評価

問5 次にあげたア～タの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=1257)



「はい」と回答した人の割合をみると、〈ケ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(34.9%)が最も高くなっている。以下、〈コ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(29.7%)、〈シ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(29.4%)などとなっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ケ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(72.9%)が最も高く、7割強を占めている。以下、〈コ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(71.0%)、〈オ 現在、あなたが住んでいる地域(仮設住宅・借り上げ住宅も含む)の治安は良いと思いますか。〉(70.9%)、〈カ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉(70.8%)が約7割、〈シ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(62.3%)が6割台で続いている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈ソ 「福島県防災アプリ」や「ふくしまマイ避難ノート」を活用するなどして、自分(自宅)の避難計画を作成していますか。〉(80.9%)が最も高く、約8割を占めている。以下、〈ア あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。〉(70.2%)が約7割などとなっている。

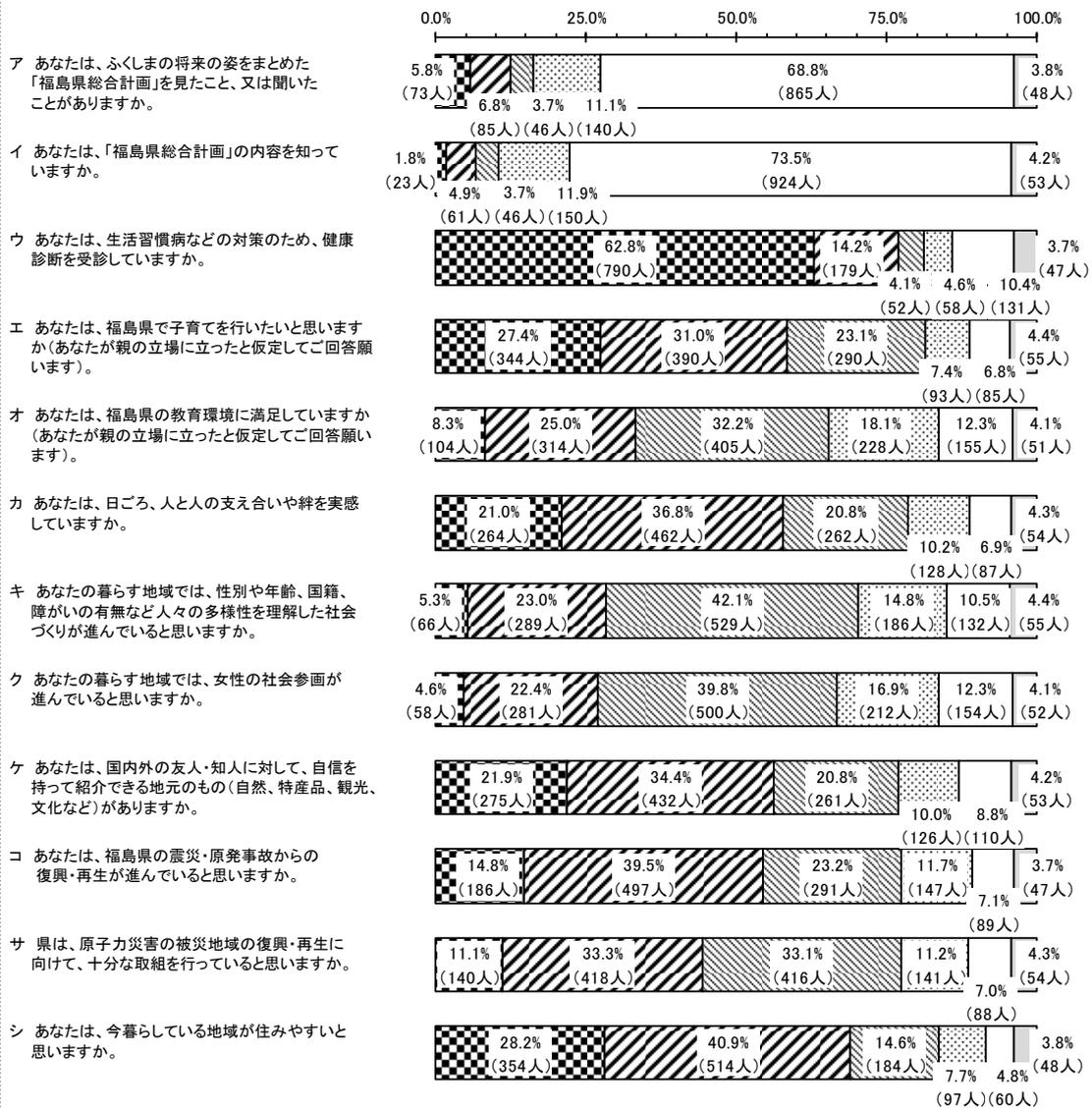
### 3. 福島県の総合計画について

#### (1) 福島県の現状についての評価

問6 次にあげたア～ヌの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=1257)

- はい
- どちらかと言えば「はい」
- どちらとも言えない・該当しない
- どちらかと言えば「いいえ」
- いいえ
- 無回答





「はい」と回答した人の割合は、〈ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(62.8%)が最も高く、6割強となっている。次いで、〈チ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いませんか。〉(51.1%)が約半数となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈チ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いませんか。〉(85.4%)が高く、8割半ばとなっている。以下、〈ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(77.1%)、〈ト あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉(72.7%)が7割台、〈ス あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。〉(69.4%)、〈シ あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いませんか。〉(69.1%)が6割台、〈エ あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いませんか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(58.4%)、〈カ あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。〉(57.8%)、〈ケ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。〉(56.2%)、〈セ あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。〉(55.3%)、〈コ あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いませんか。〉(54.3%)、〈ナ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)を利用したいと思いませんか(既に利用している人を含む)。〉(52.3%)が5割台などとなっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈イ あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。〉(85.4%)、〈ア あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。〉(80.0%)が高くなっている。以下、〈ツ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。〉(45.2%)、〈ヌ あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。〉(30.6%)、〈オ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(30.5%)、〈ク あなたの暮らす地域では、女性の社会参画が進んでいると思いませんか。〉(29.1%)などとなっている。

## 4. 福島イノベーション・コースト構想について

### (1) 福島イノベーション・コースト構想※について知っている取組

#### ※【参考】「福島イノベーション・コースト構想」とは

東日本大震災と原子力災害によって大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復するため、この地域を新たな産業が次々と生まれる場所にすることを目指すものです。令和5年4月1日には、構想を更に発展させ、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力や産業競争力の強化に貢献する、「創造的復興の中核拠点」として、福島国際研究教育機構（F-REI）が国によって浪江町に設立されました。

構想を実現するために、以下の分野を中心に取り組んでいます。

#### ・原子力発電所の廃炉に向けた取組

廃炉国際共同研究センター（富岡町）での研究開発、地元企業を廃炉産業へ参入しやすくするための取組など

#### ・ロボット産業を活発にするための取組

福島ロボットテストフィールド（南相馬市）を活用したロボット・ドローン等の実証実験など

#### ・新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組

福島水素エネルギー研究フィールド（浪江町）での研究開発や環境負荷が低い製造技術の開発など

#### ・農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組

自動運転トラクター、ドローンによる農薬散布などの先端技術を活用した農業など

#### ・医療関連で利用できる技術を支える取組

健康状態の分析・確認ができる衣類や介護現場の負担を軽減する機器の開発など

#### ・航空宇宙で利用できる技術を支える取組

空飛ぶクルマの開発や宇宙での活用を想定した技術開発など

#### ・子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組

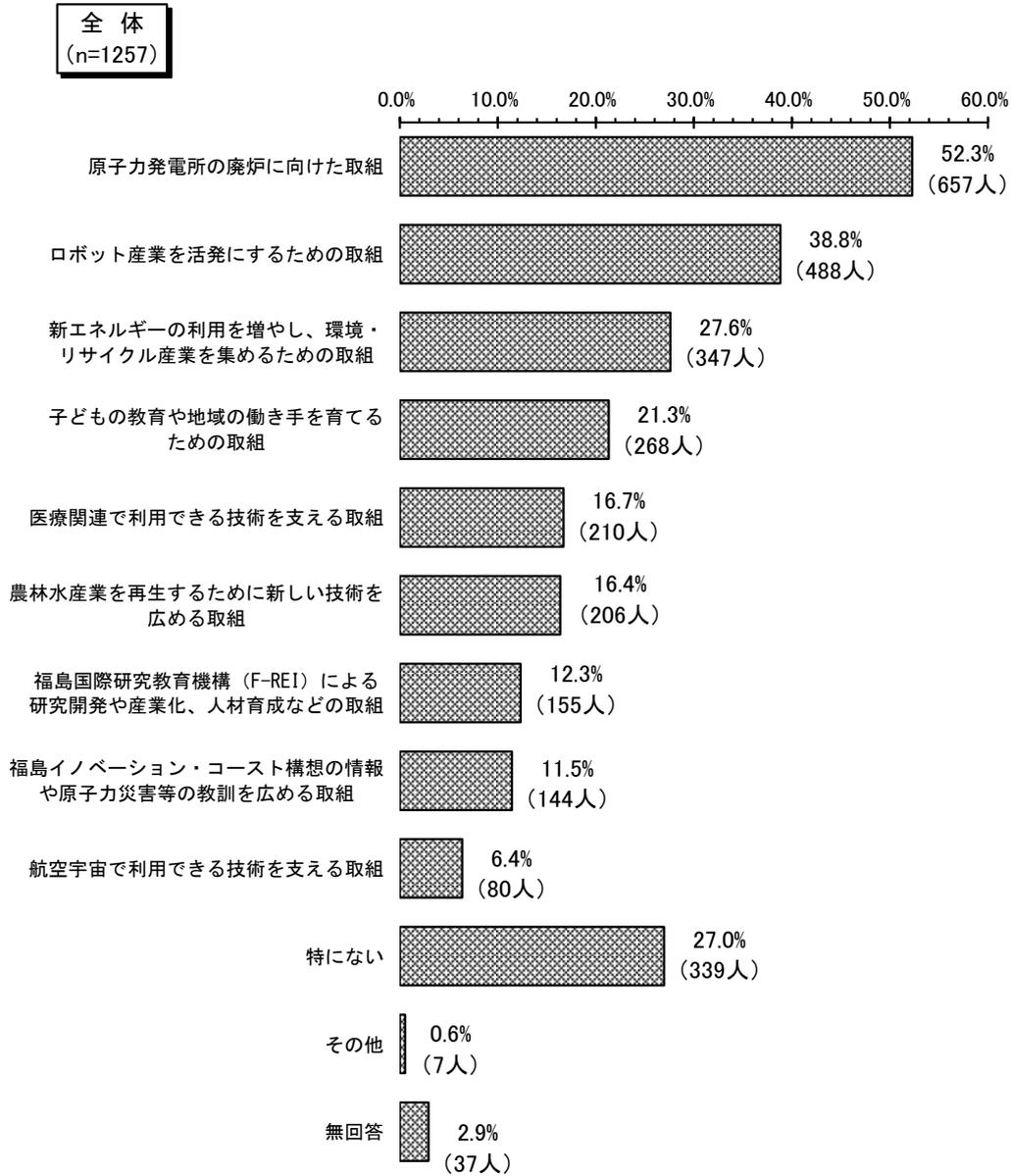
ふたば未来学園中学校・高等学校（広野町）での教育活動、大学や地元企業等の力を借りた特色ある教育プログラムなど

#### ・福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組

イベントやインターネット（ホームページ、SNSなど）での情報発信、産学官の交流イベントや若者世代へのセミナーの開催、東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）の運営など

問7 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

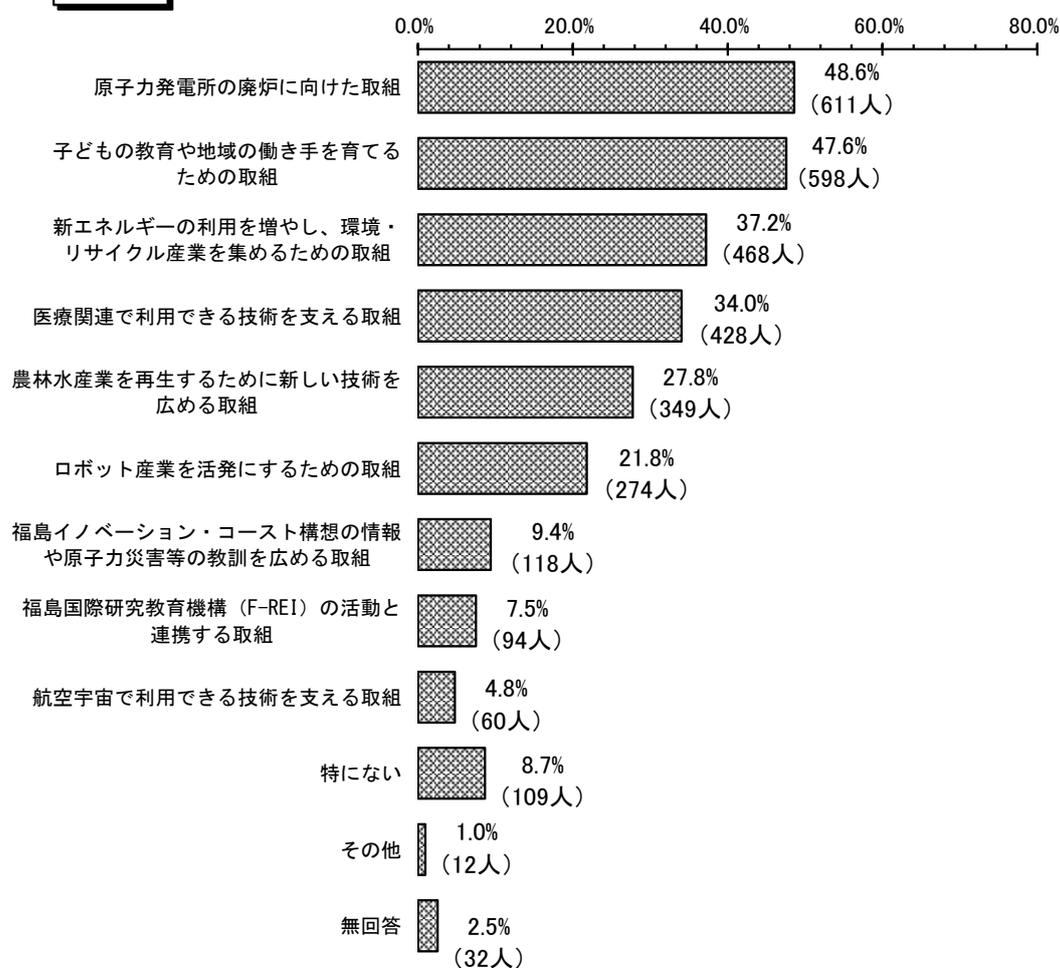


福島イノベーション・コースト構想について知っている取組は、「原子力発電所の廃炉に向けた取組」(52.3%)が最も多く、過半数となっている。以下、「ロボット産業を活発にするための取組」(38.8%)が3割台、「新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組」(27.6%)、「子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組」(21.3%)が2割台などとなっている。

## (2) 福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組

問8 今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

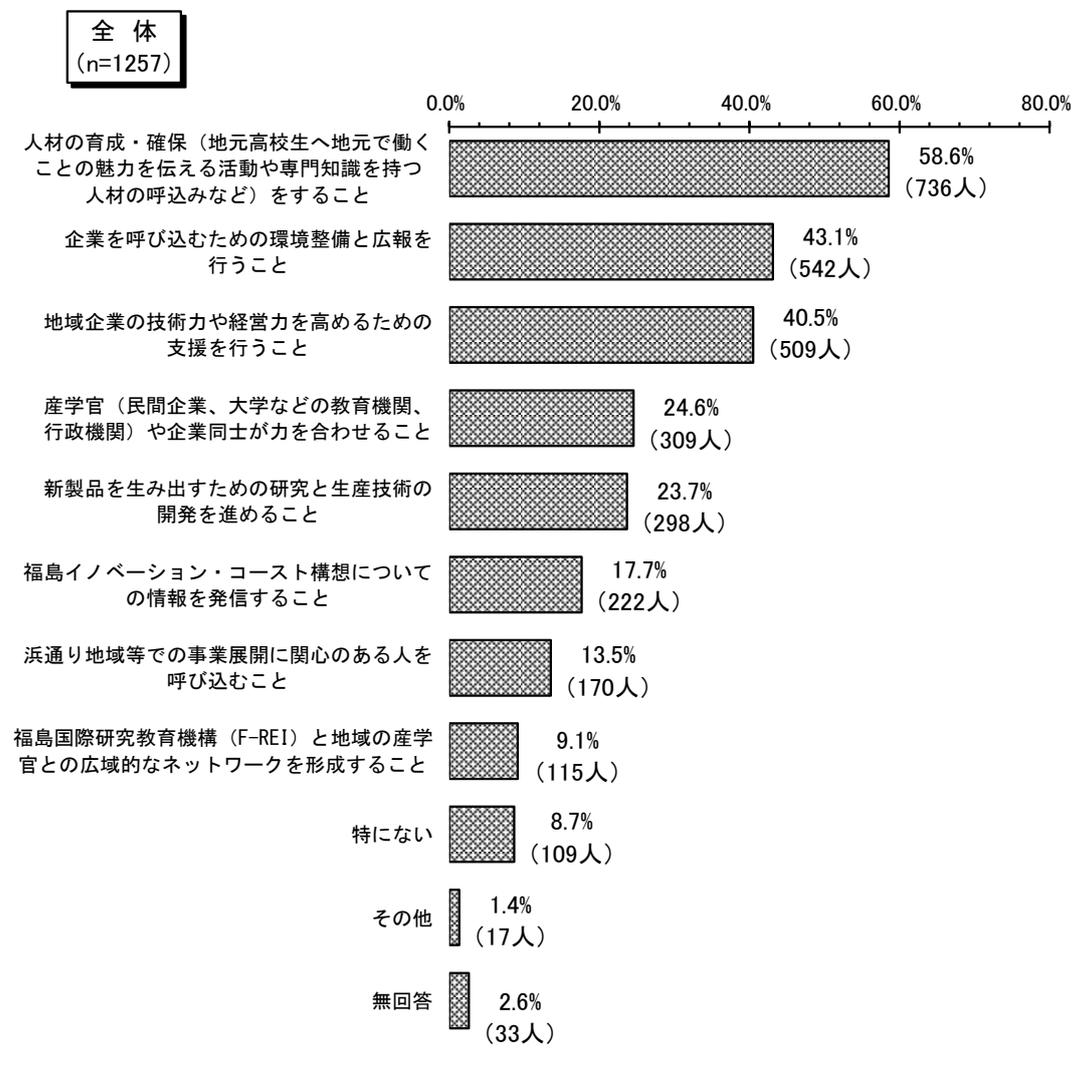
全体  
(n=1257)



福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組については、「原子力発電所の廃炉に向けた取組」(48.6%)と「子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組」(47.6%)が多く、約5割となっている。以下、「新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組」(37.2%)、「医療関連で利用できる技術を支える取組」(34.0%)が3割台などとなっている。

### (3) 福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策

問9 今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



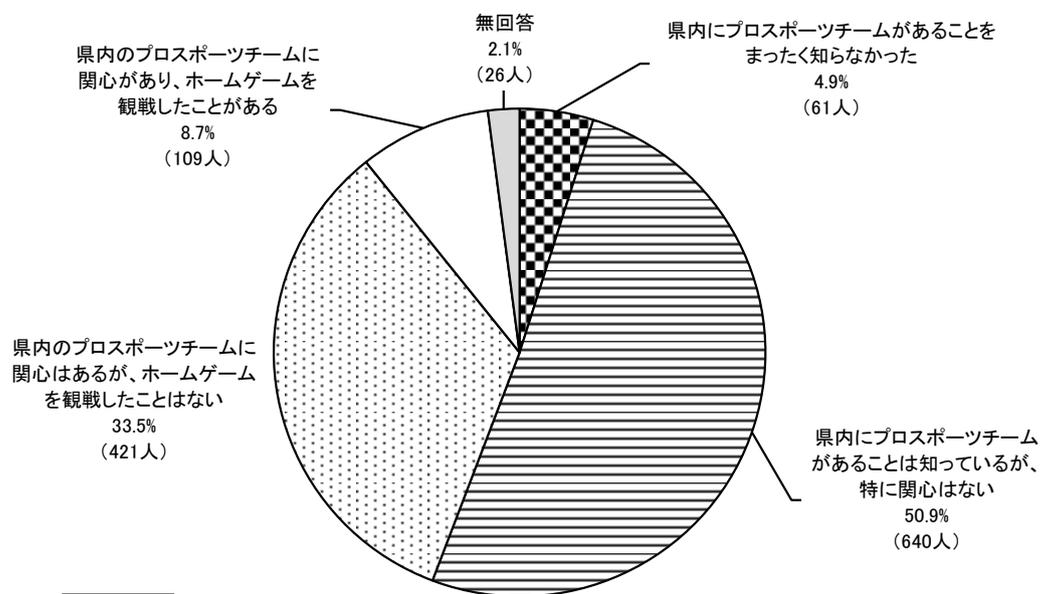
福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策については、「人材の育成・確保（地元高校生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼び込みなど）をすること」（58.6%）が最も多く、約6割となっている。以下、「企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと」（43.1%）、「地域企業の技術力や経営力を高めるための支援を行うこと」（40.5%）が4割台、「産学官（民間企業、大学などの教育機関、行政機関）や企業同士が力を合わせることを」（24.6%）、「新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること」（23.7%）が2割台などとなっている。

## 5. 県内のプロスポーツチームについて

### (1) 県内のプロスポーツチームへの関心

問10 県内のプロスポーツチームについて伺います。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



全体  
(n=1257)

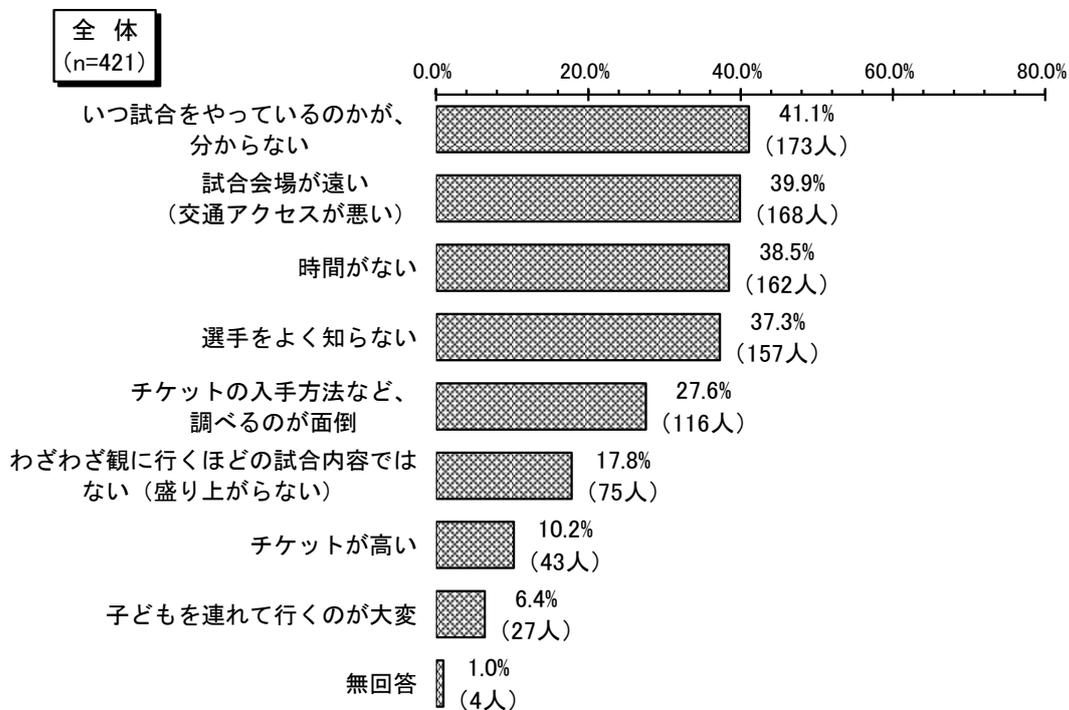
県内のプロスポーツチームへの関心は、「県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった」（4.9%）と「県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に興味はない」（50.9%）を合わせると半数以上の人々が『関心がない』と回答している。「県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない」（33.5%）が3割強、「県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある」（8.7%）が1割弱と『関心がある』は約4割となっている。

## (2) 試合を現地で観戦しない理由

(問10で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問11 試合を現地で観戦しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

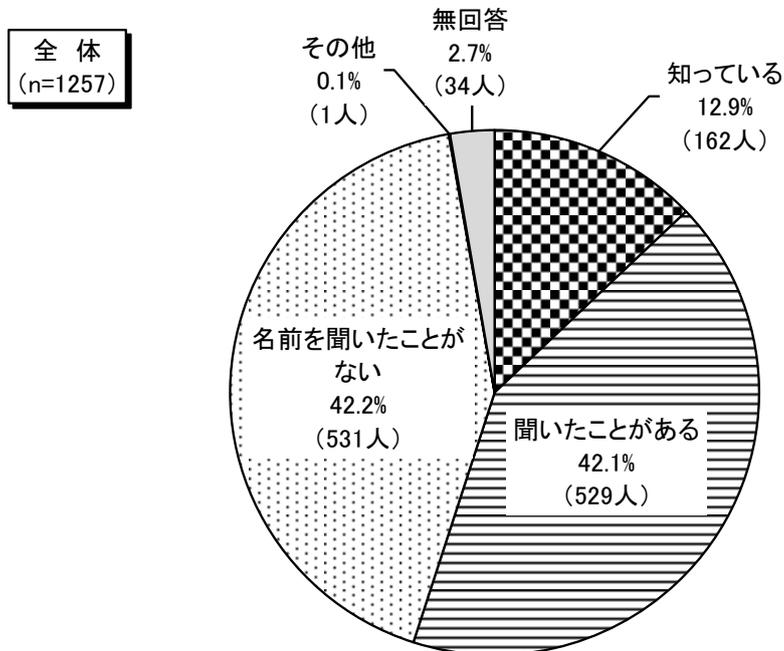


試合を現地で観戦しない理由は、「いつ試合をやっているのかが、分からない」(41.1%)が4割超と多く、以下「試合会場が遠い(交通アクセスが悪い)」(39.9%)、「時間がない。」(38.5%)、「選手をよく知らない」(37.3%)が3割台後半などとなっている。

## 6. チャレンジふくしま県民運動について

### (1) チャレンジふくしま県民運動の認知状況

問12 「健康」をテーマとしたチャレンジふくしま県民運動について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

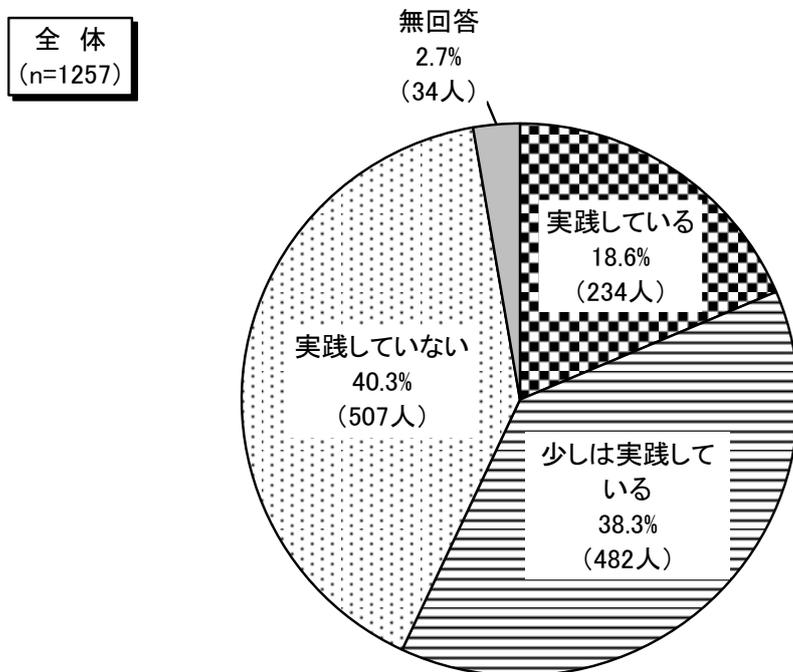


チャレンジふくしま県民運動の認知状況については、「知っている」(12.9%)と「聞いたことがある」(42.1%)を合わせると半数以上の人に認知されているが、「名前を聞いたことがない」(42.2%)が4割強となった。

## (2) 心身の健康づくりの実践状況

問 13 例えば、減塩、ウォーキング（ウォークビズ※含む）など軽い運動、サークル活動のような心身の健康づくりを最近行っていますか。

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。



※【参考】ウォークビズとは

健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

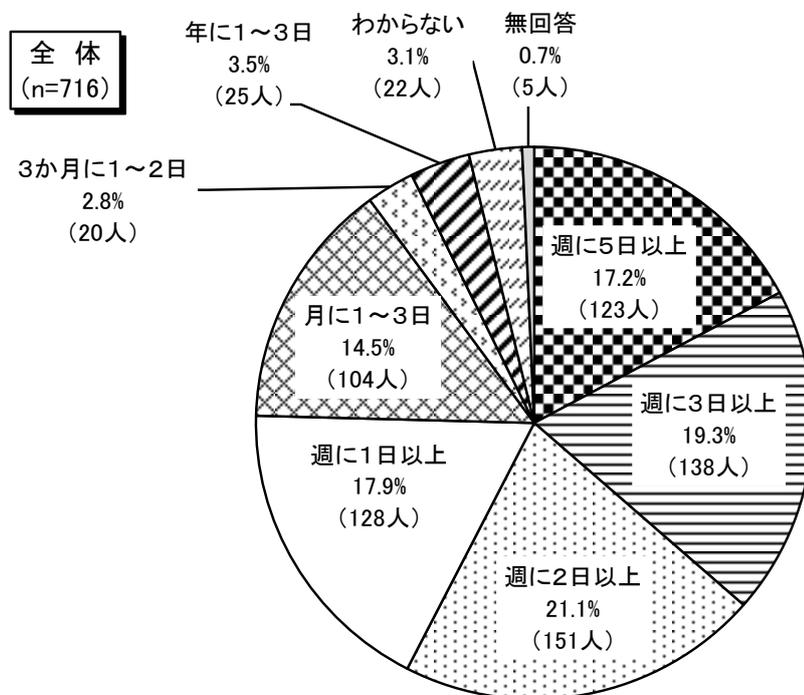
心身の健康づくりの実践状況については、「実践している」(18.6%)と「少しは実践している」(38.3%)を合わせると半数以上の人が何らかの健康づくりを実践しており、「実践していない」(40.3%)は約4割となった。

### (3) 心身の健康づくりの実践頻度

(問13で「1」又は「2」と回答した方にお尋ねします。)

問14 あなたは、この1年間にどの程度の頻度で運動(ウォーキング等の軽い運動含む)やスポーツを実施されましたか。

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

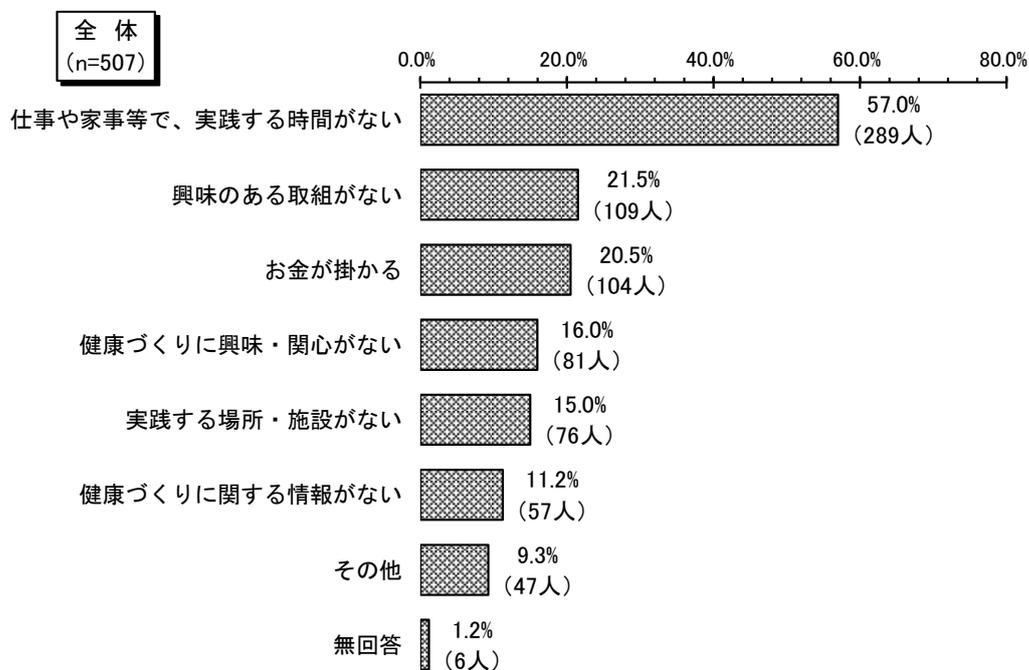


心身の健康づくりの実践頻度については、「週に2日以上」(21.1%)が最も多くなっている。次いで、「週に3日以上」(19.3%)、「週に1日以上」(17.9%)、「週に5日以上」(17.2%)が続いている。

#### (4) 心身の健康づくりを実践していない理由

(問13で「3 実践していない」と回答した方にお尋ねします。)

問15 健康づくりを実践していない理由について、  
あてはまるものにもいくつでも○を付けてください。

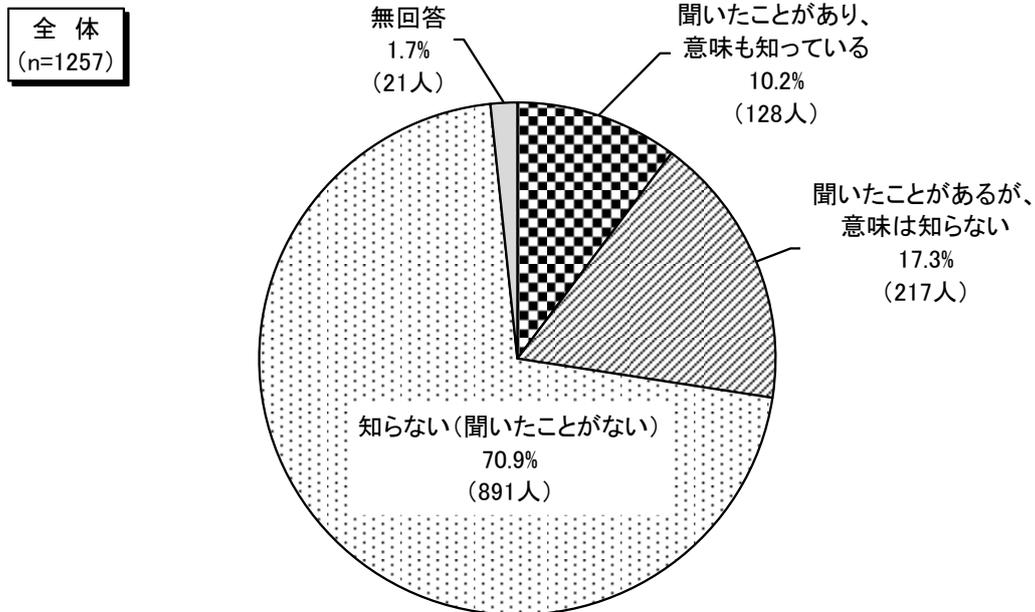


心身の健康づくりを実践していない理由は、「仕事や家事等で、実践する時間がない」(57.0%)が最も多く、5割半ばとなっている。以下、「興味のある取組がない」(21.5%)、「お金が掛かる」(20.5%)が約2割、「健康づくりに興味・関心がない」(16.0%)、「実践する場所・施設がない」(15.0%)が1割台などとなっている。

## 7. エシカル消費（倫理的消費）について

### (1) 「エシカル消費」という言葉の認知状況

問 16 あなたは、「エシカル消費」という言葉を知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



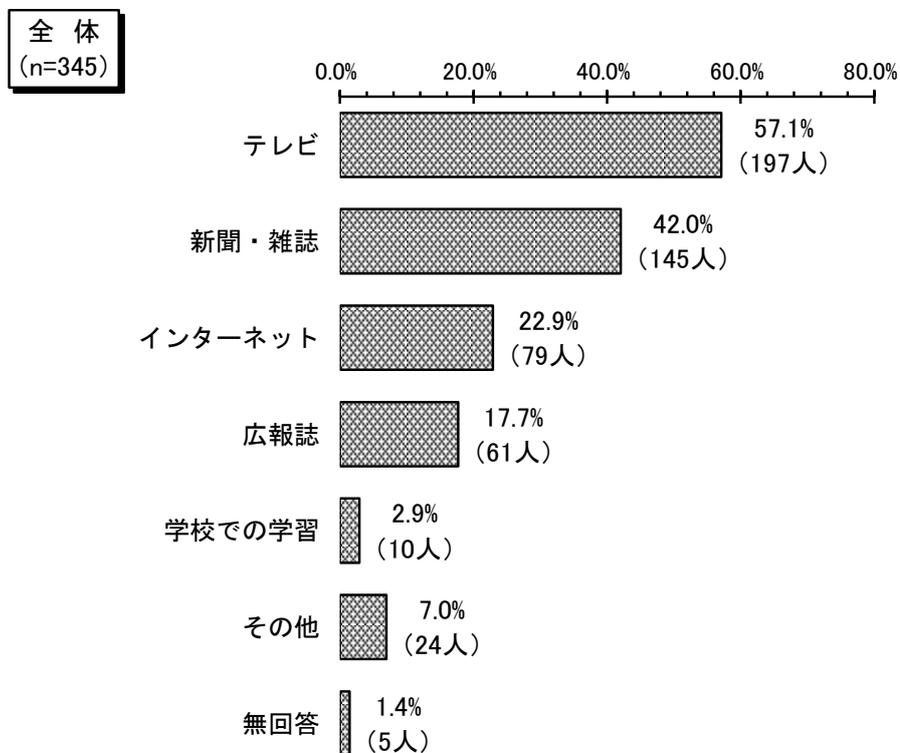
「エシカル消費」という言葉の認知状況は「知らない（聞いたことがない）」（70.9%）の割合が最も多く、約7割となっている。「聞いたことがあり、意味も知っている」（10.2%）の割合は約1割、「聞いたことがあるが、意味は知らない」（17.3%）の割合は2割弱となっている。

## (2) 「エシカル消費」という言葉の情報元

(問16で「1」又は「2」と回答した方にお尋ねします。)

問17 「エシカル消費」という言葉を何で知りましたか。

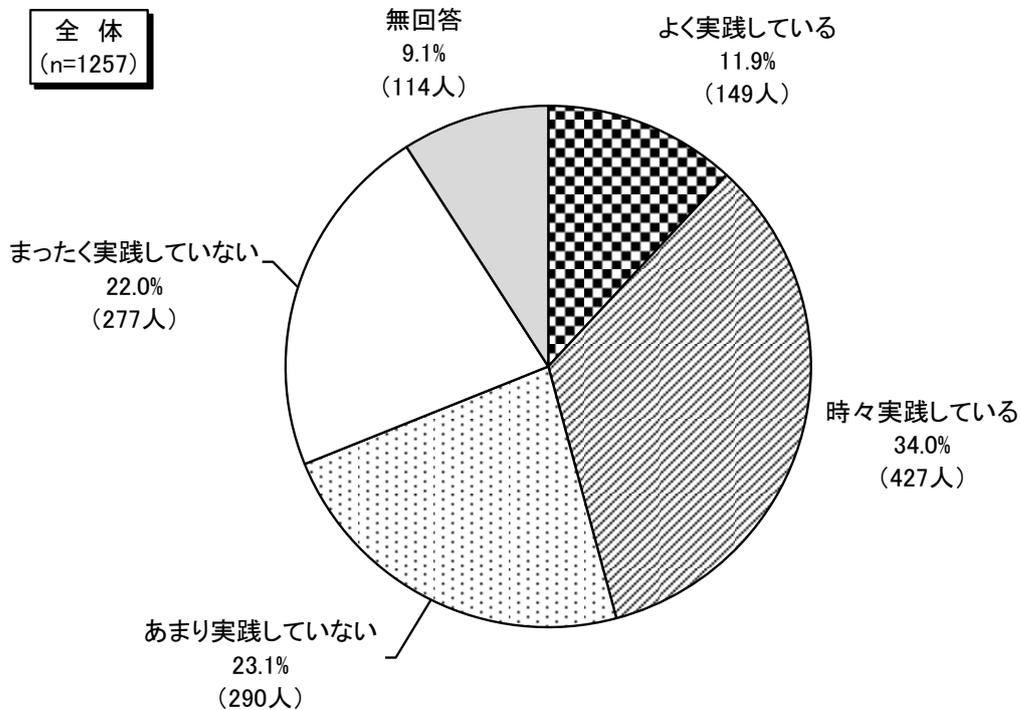
あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。



言葉の情報元は、「テレビ」(57.1%)が最も多く、5割半ばとなっている。以下、「新聞・雑誌」(42.0%)が約4割、「インターネット」(22.9%)が2割台、「広報誌」(17.7%)が1割台などとなっている。

### (3) エシカル消費につながる行動の実践状況

問 18 エシカル消費につながる行動について、どの程度実践していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



エシカル消費につながる行動の実践状況については、「時々実践している」(34.0%)が最も多く、3割半ばを占めている。「よく実践している」(11.9%)が約1割、「あまり実践していない」(23.1%)、「まったく実践していない」(22.0%)が2割台となっている。

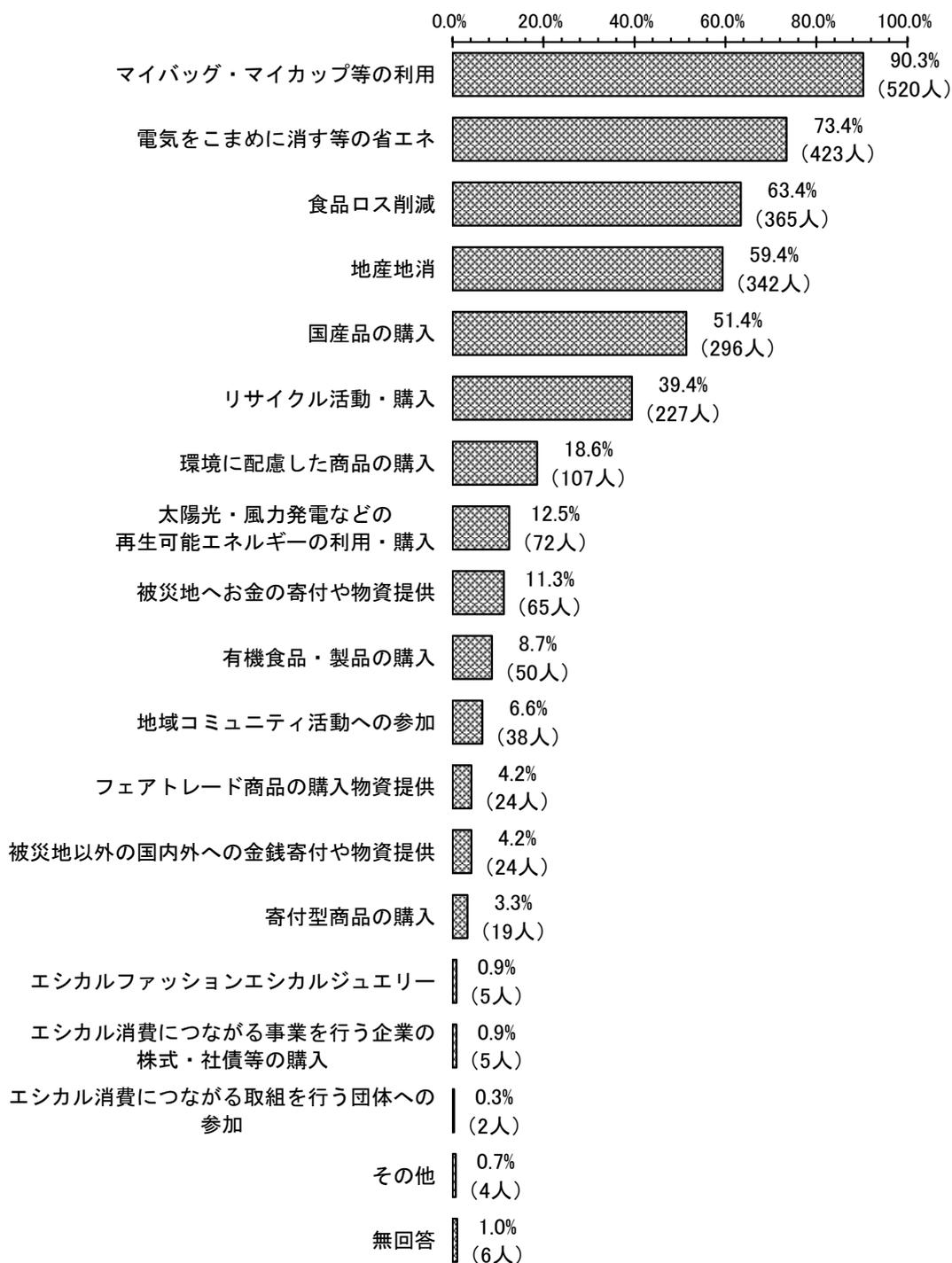
#### (4) エシカル消費につながる行動の実践内容

(問18「1」又は「2」と回答した方にお尋ねします。)

問19 具体的にどのようなことを実践していますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全体  
(n=576)

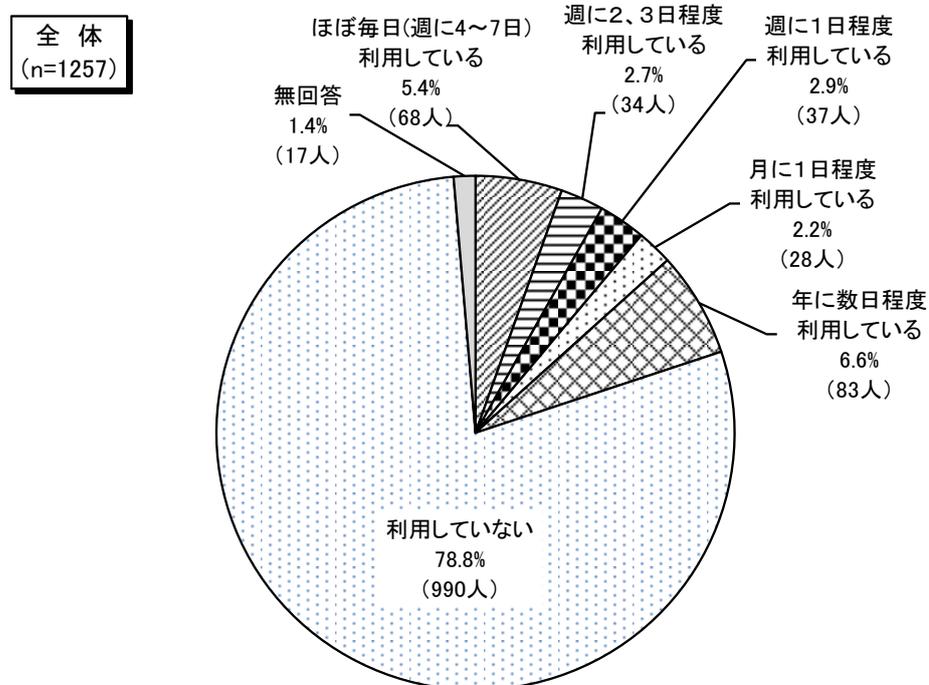


エシカル消費につながる行動の実践内容について、「マイバッグ・マイカップ等の利用」(90.3%)の割合が最も多く、約9割となっている。次いで、「電気をこまめに消す等の省エネ」(73.4%)が7割強、「食品ロス削減」(63.4%)が6割台、「地産地消」(59.4%)、「国産品の購入」(51.4%)が5割台、「リサイクル活動・購入」(39.4%)が約4割で続いている。

## 8. 自転車の安全利用について

### (1) 自転車の利用頻度

問 20 あなたは、ふだんの生活で自転車をどのくらい利用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



自転車を利用している人の利用頻度は「年に数日程度利用している」(6.6%)の割合が最も多く、1割未満となっている。月に1日以上利用している人の合計(13.3%)は1割強となっている。

一方、「利用していない」(78.8%)の割合は約8割となっている。

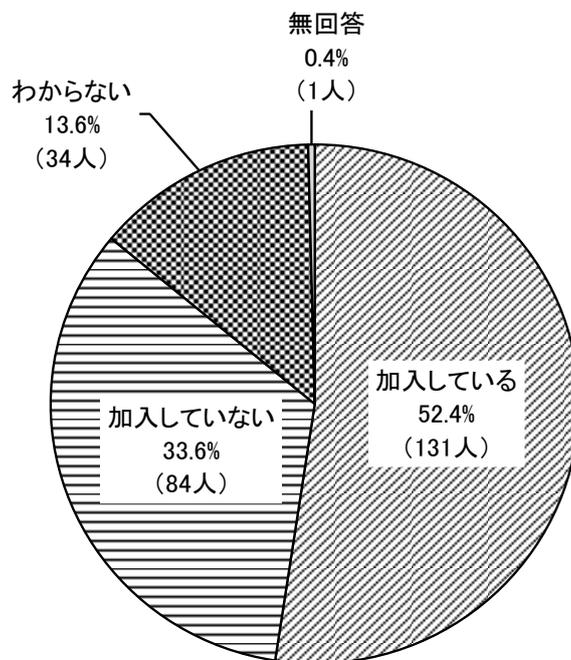
## (2) 自転車損害賠償保険の加入状況

(問20で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問21 あなたは、自転車保険に加入していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=250)

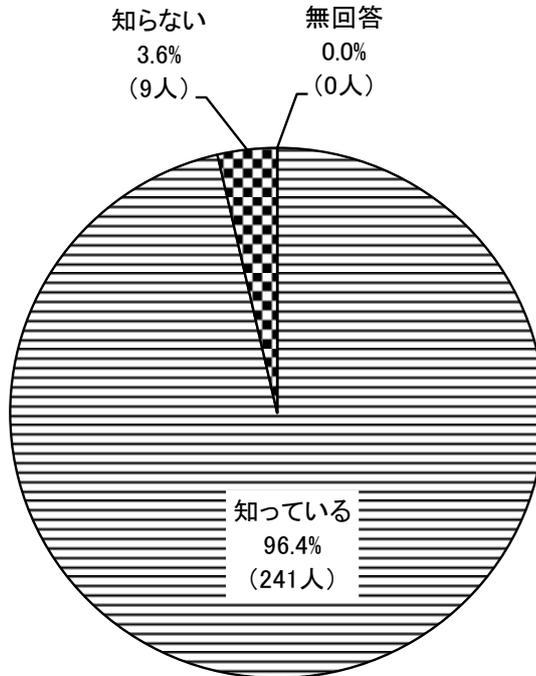


自転車損害賠償保険の加入状況は「加入している」(52.4%)が最も多く、5割強となっており、「加入していない」(33.6%)は、3割半ばとなっている。

### (3) ヘルメットの着用の努力義務化の認知状況

問 22 あなたは、道路交通法が改正され、令和5年4月1日から全ての自転車利用者の方を対象にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体  
(n=250)

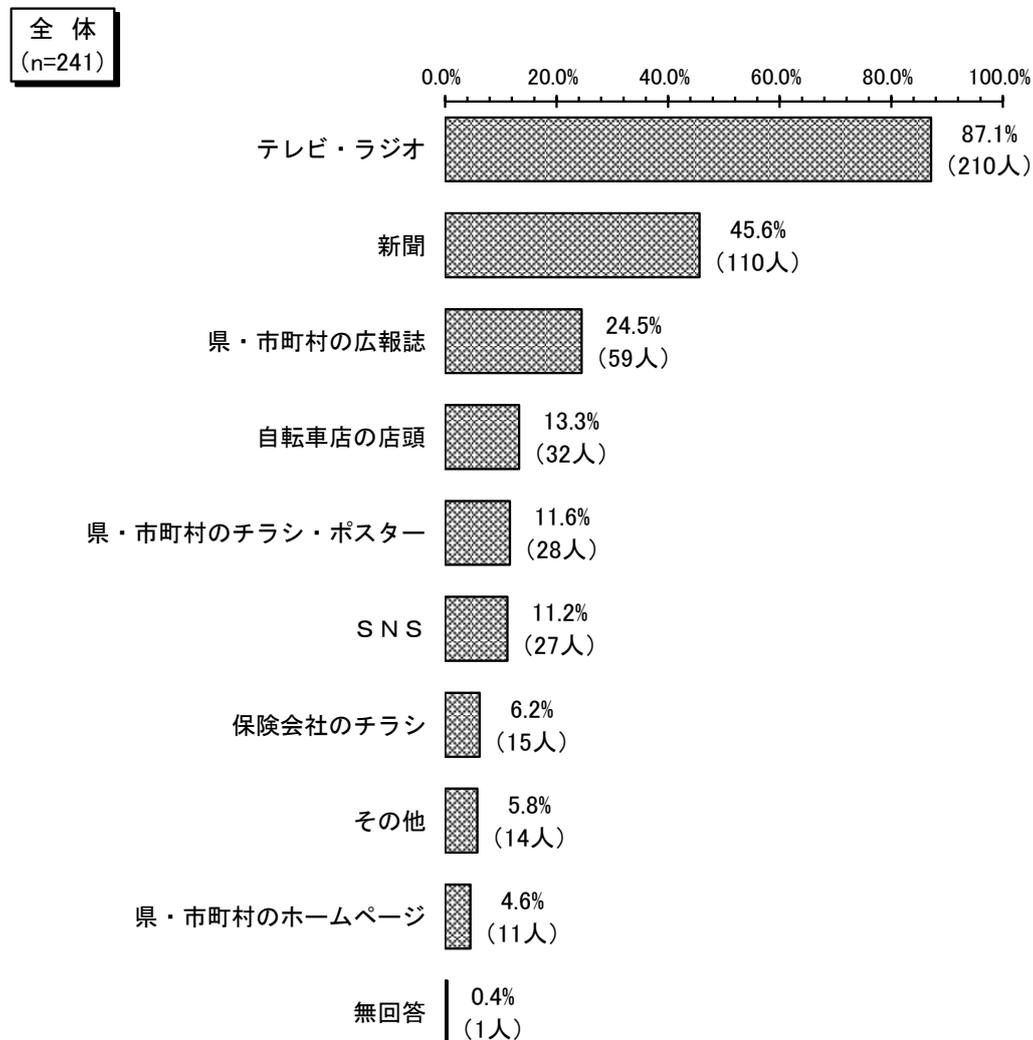


ヘルメットの着用の努力義務化の認知状況は「知っている」(96.4%)の割合がほとんどを占め、「知らない」は3.6%となっている。

#### (4) ヘルメットの着用の努力義務化の情報元

(問22で「1」と回答した方にお尋ねします。)

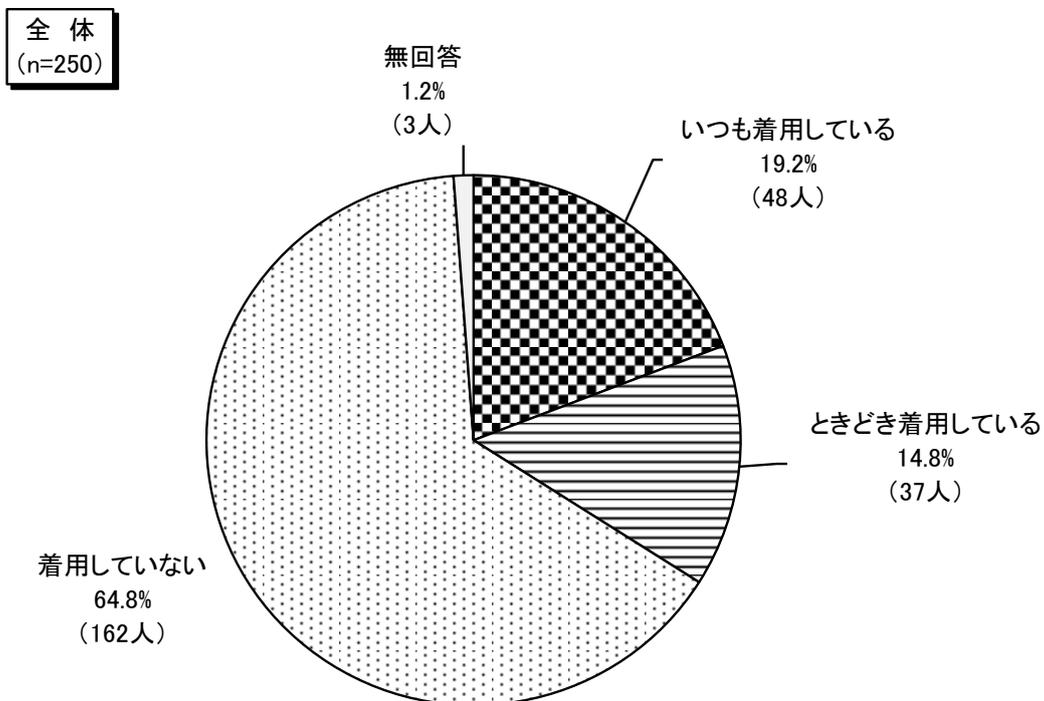
問23 あなたは、自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことを何で知りましたか。あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。



ヘルメットの着用の努力義務化の情報元は、「テレビ・ラジオ」(87.1%)が最も多く、9割弱となっている。以下、「新聞」(45.6%)が4割台、「県・市町村の広報誌」(24.5%)が2割台などとなっている。

## (5) ヘルメットの着用状況

問 24 あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



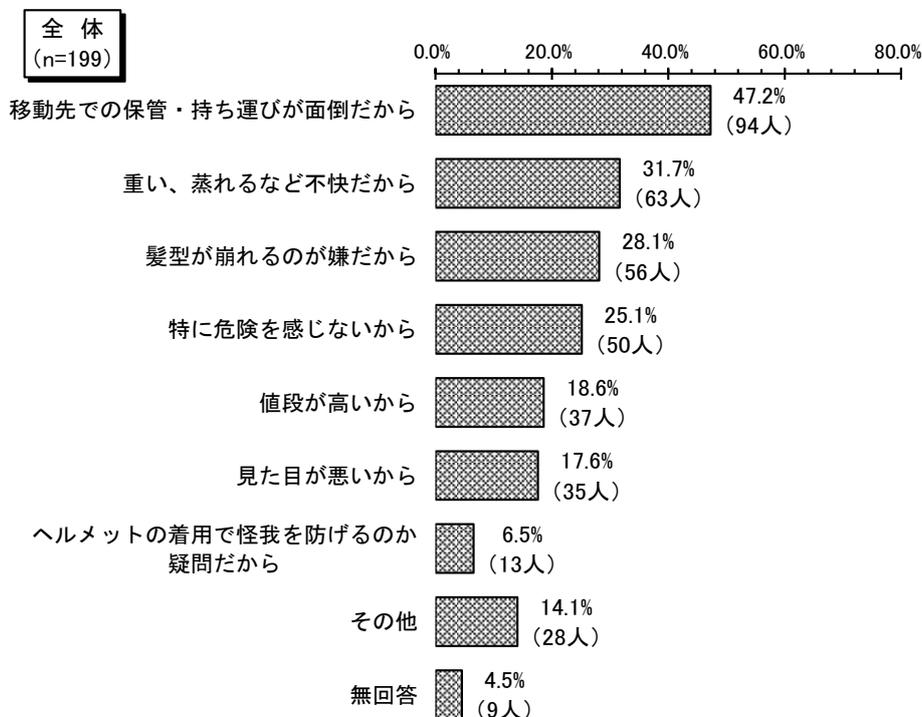
ヘルメットの着用状況は「いつも着用している」(19.2%)が約2割、「ときどき着用している」(14.8%)が1割半ば、「着用していない」(64.8%)は6割半ばとなっている。

## (6) ヘルメットを着用しない理由

(問24で「2」又は「3」と回答した方にお尋ねします。)

問25 あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

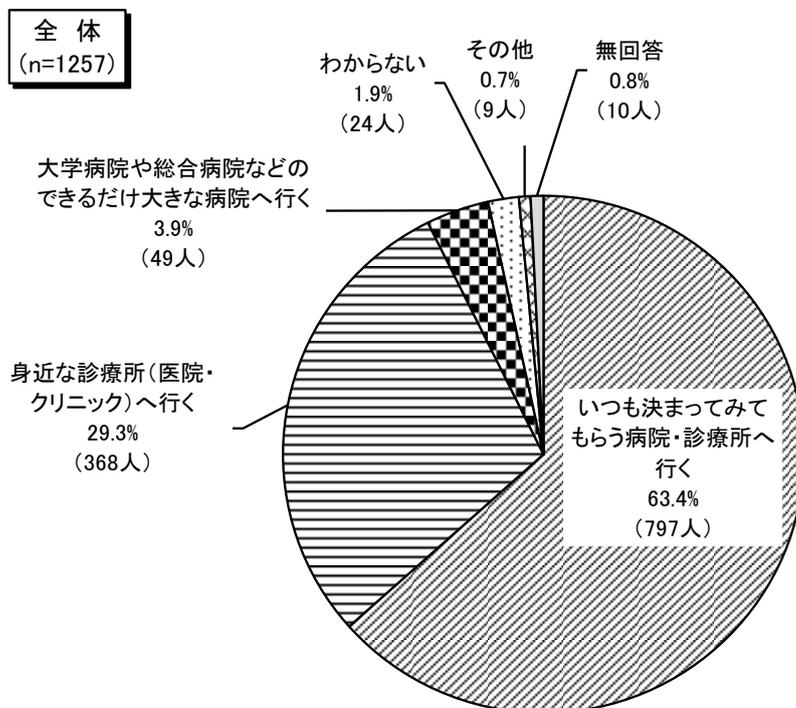


ヘルメットを着用しない理由は、「移動先での保管・持ち運びが面倒だから」(47.2%)が最も多く、5割弱となっている。以下、「重い、蒸れるなど不快だから」(31.7%)が3割台、「髪型が崩れるのが嫌だから」(28.1%)、「特に危険を感じないから」(25.1%)が2割台などとなっている。

## 9. 地域の医療について

### (1) 体調不良時の対応

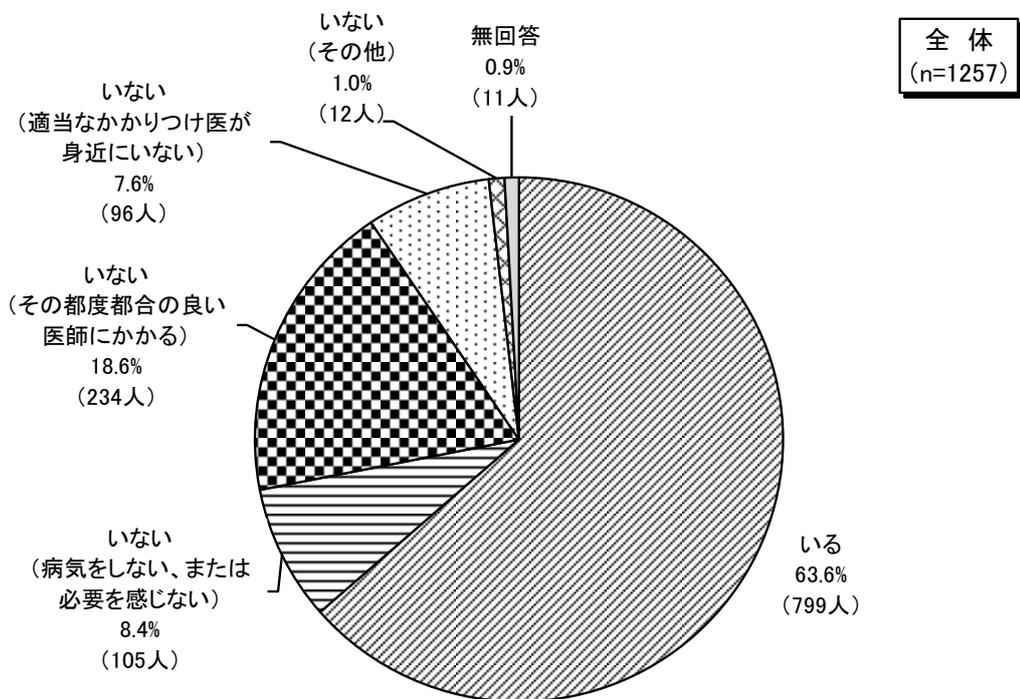
問 27 あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。



体調不良時の対応については「いつも決まってみてもらおう病院・診療所へ行く」(63.4%)の割合が最も多く、6割強となっている。次いで、「身近な診療所(医院・クリニック)へ行く」(29.3%)が約3割となっている。

## (2) かかりつけ医の有無

問 28 あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師  
(かかりつけ医) がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

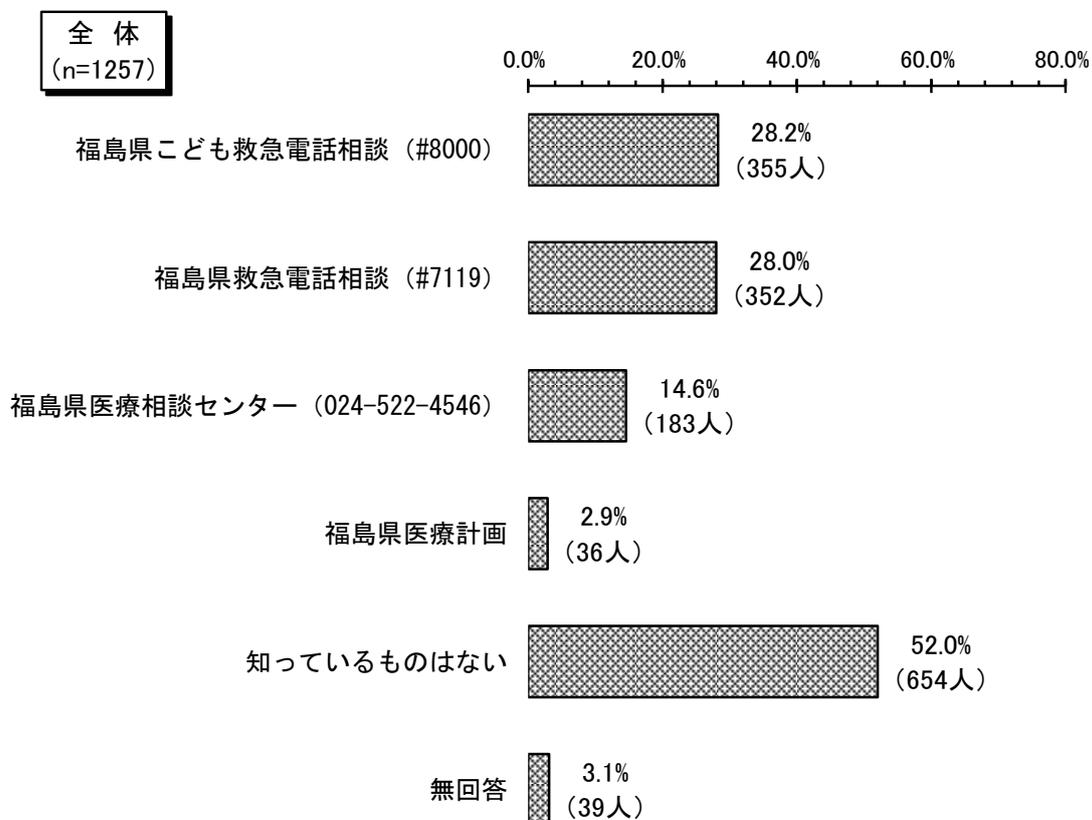


かかりつけ医の有無については「いる」(63.6%)の割合が6割強を占めている。以下、「いない(その都度都合の良い医師にかかる)」(18.6%)、「いない(病気をしない、または必要を感じない)」(8.4%)、「いない(適当なかかりつけ医が身近にいない)」(7.6%)、「いない(その他)」(1.0%)となっている。

### (3) 知っている医療関連サービス

問 29 あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。

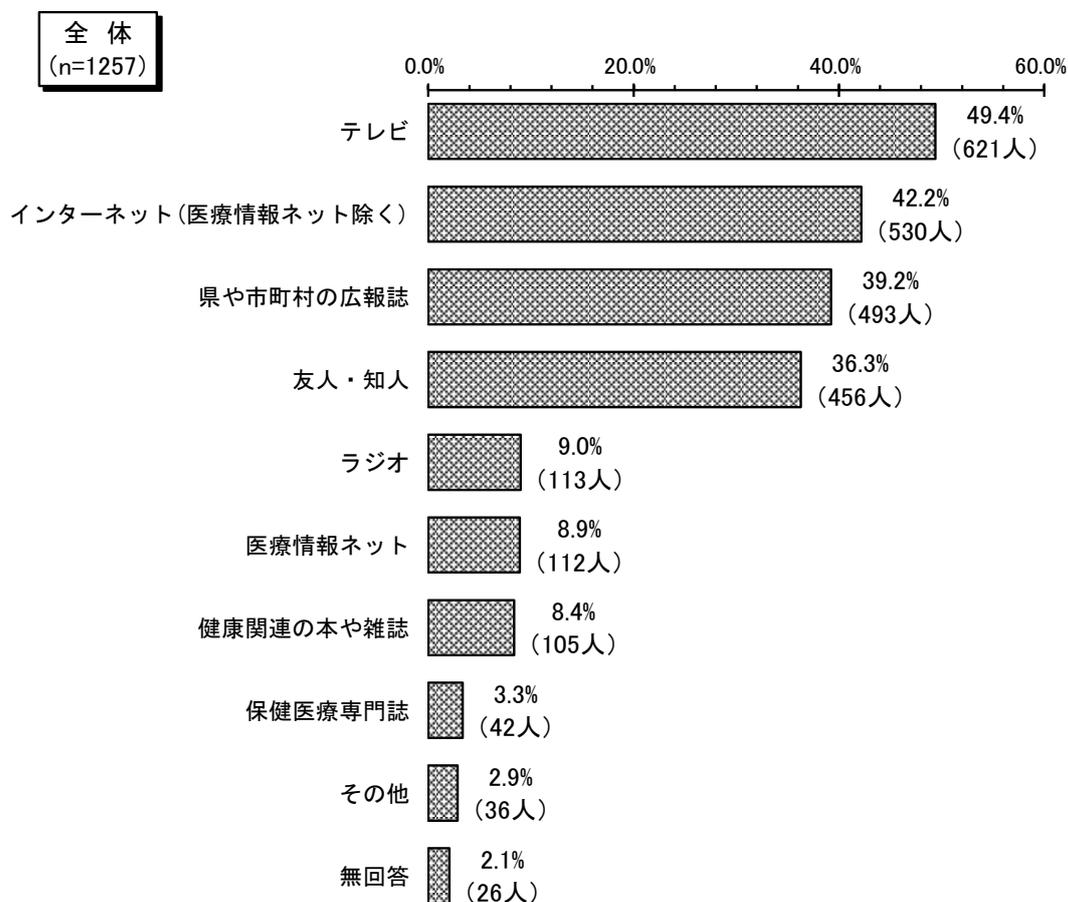
知っているものすべてに○をつけてください。



知っている医療関連サービス等について、「福島県子ども救急電話相談 (#8000)」(28.2%)、「福島県救急電話相談 (#7119)」(28.0%) の割合が3割弱で高く、次いで「福島県医療相談センター (024-522-4546)」(14.6%) で続いている。「福島県医療計画」は2.9%とわずかであった。「知っているものはない」(52.0%) は半数以上となった。

#### (4) 保健や医療に関する情報の入手方法

問30 あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



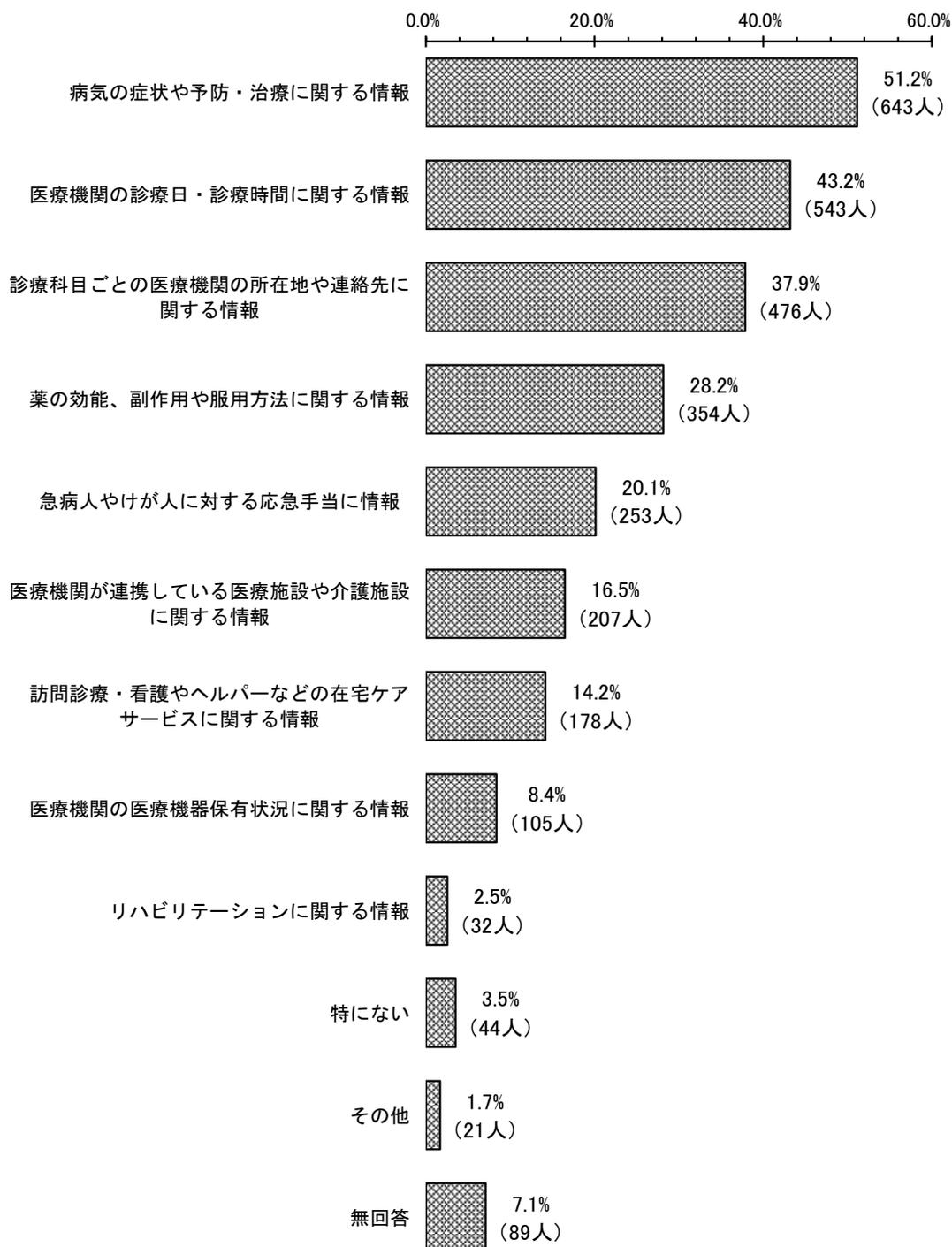
保健や医療に関する情報の入手方法について、「テレビ」(49.4%)の割合が最も多く、約半数となっている。次いで、「インターネット(医療情報ネット除く)」(42.2%)が4割台、「県や市町村の広報誌」(39.2%)、「友人・知人」(36.3%)が3割台などと続いている。

## (5) 保健や医療に関して知りたい情報

問 31 あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何か。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=1257)

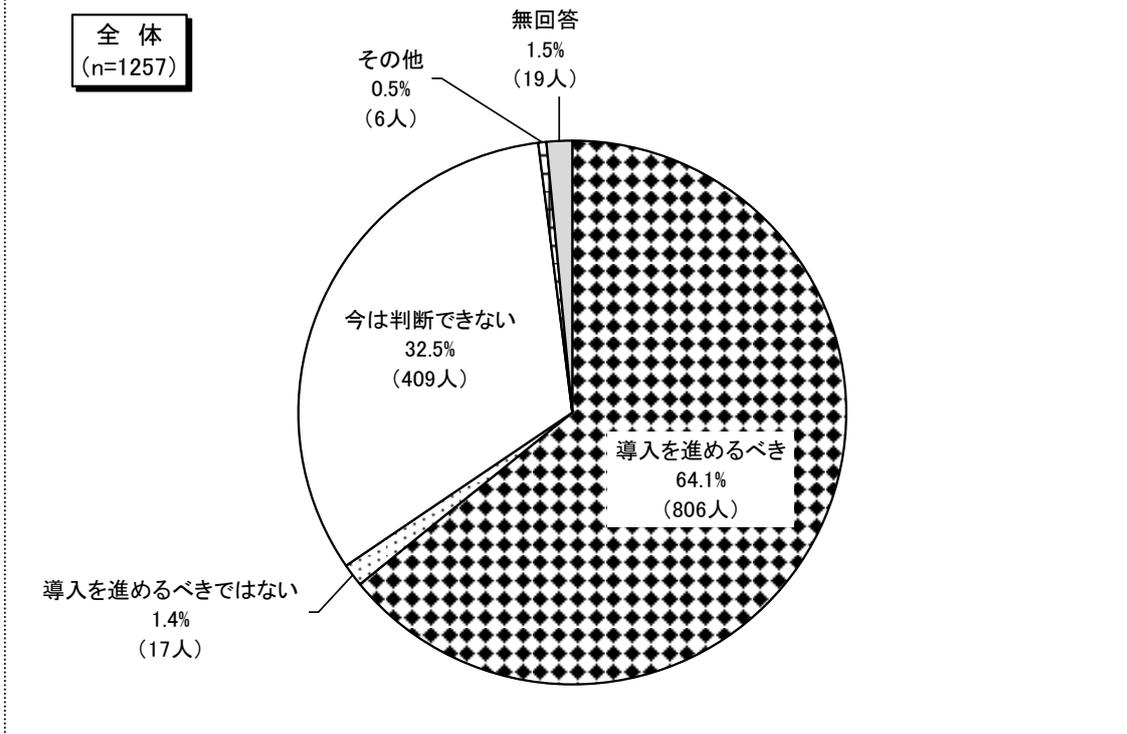


保健や医療に関して知りたい情報について、「病気の症状や予防・治療に関する情報」(51.2%)の割合が最も多く、約5割となっている。次いで、「医療機関の診療日・診療時間に関する情報」(43.2%)が4割台、「診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報」(37.9%)が3割台、「薬の効能、副作用や服用方法に関する情報」(28.2%)、「急病人やけが人に対する応急手当に情報」(20.1%)が2割台などと続いている。

## 10. ロボット・ドローンの活用について

### (1) ロボット・ドローンの導入について

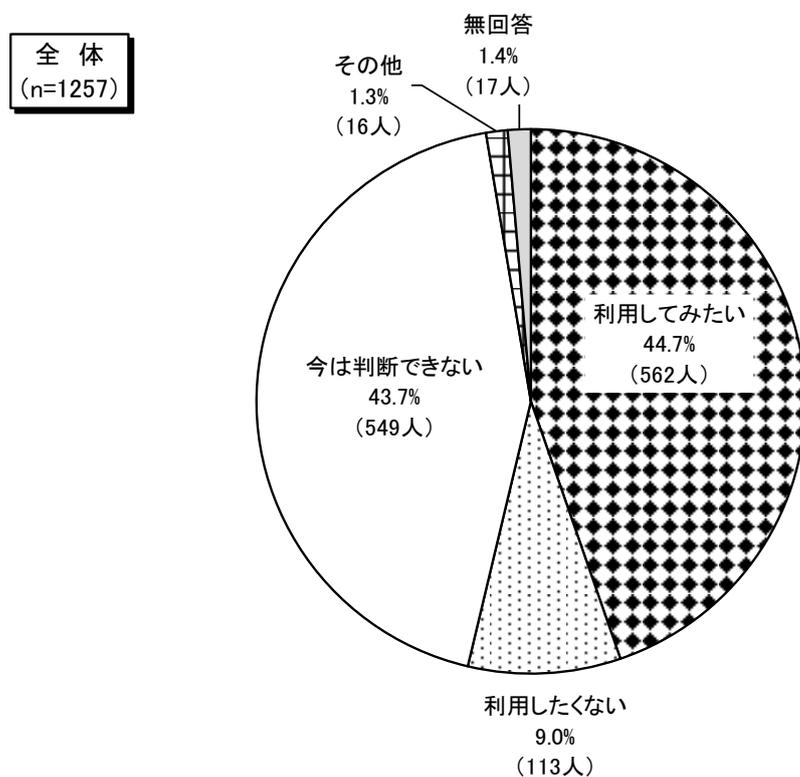
問 32 労働力不足などを踏まえ、今後、日常生活の中にロボット・ドローンが導入される機会が増えることが想定されますが、どのように受け止めますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



ロボット・ドローンの導入について、「導入を進めるべき」(64.1%)の割合が最も多く、6割半ばとなっている。「今は判断できない」(32.5%)は3割強、「導入を進めるべきではない」は1.4%となっている。

## (2) ロボット・ドローンの利用について

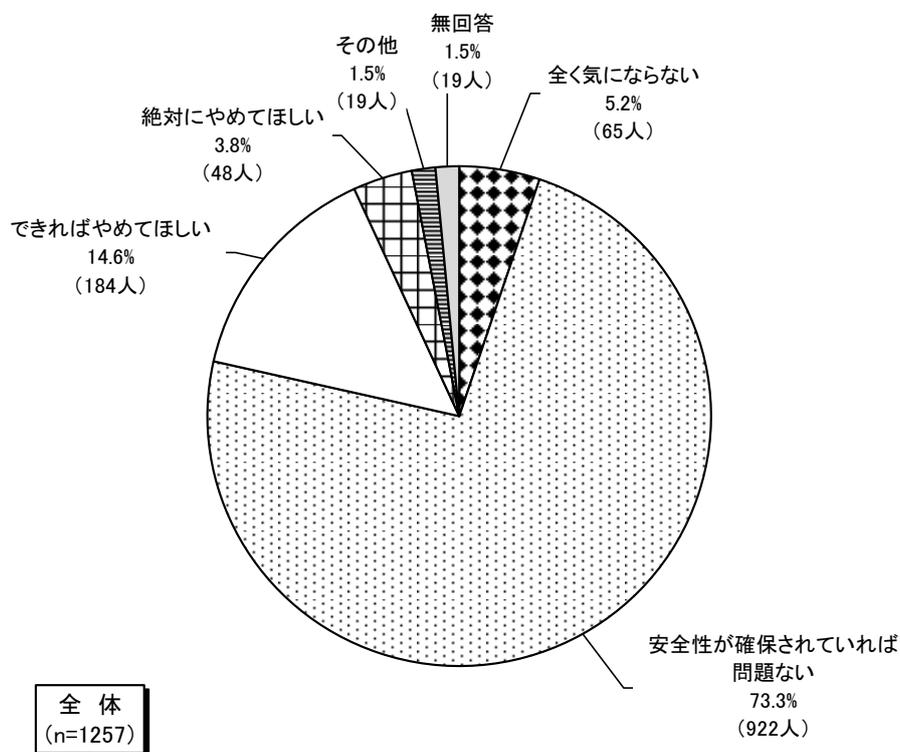
問 33 県では将来のドローンによる配送サービス（宅配便、日用品の買い物、出前など）の開始を見据え、一部の地域でドローンによる配送の実証を行う予定です。そこで、将来的にドローンによる配送サービスが始まったら利用してみたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



ロボット・ドローンの利用について、「利用してみたい」（44.7%）、「今は判断できない」（43.7%）の割合が4割台となっている。「利用したくない」（9.0%）は約1割となっている。

### (3) 自分の周りをドローンが飛ぶことについて

問 34 航空法の改正により、条件を満たすドローンが人や住宅の上空を飛ぶことができるようになりましたが、実際に自分の周りをドローンが飛ぶようになった場合、どのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



自分の周りをドローンが飛ぶことについて、「安全性が確保されていけば問題ない」(73.3%)の割合が最も多く、7割半ばとなっている。「全く気にならない」(5.2%)を合わせた『問題はない』計は約8割となる。「できればやめてほしい」(14.6%)が1割半ば、「絶対にやめてほしい」(3.8%)を合わせた『やめてほしい』計は約2割となる。

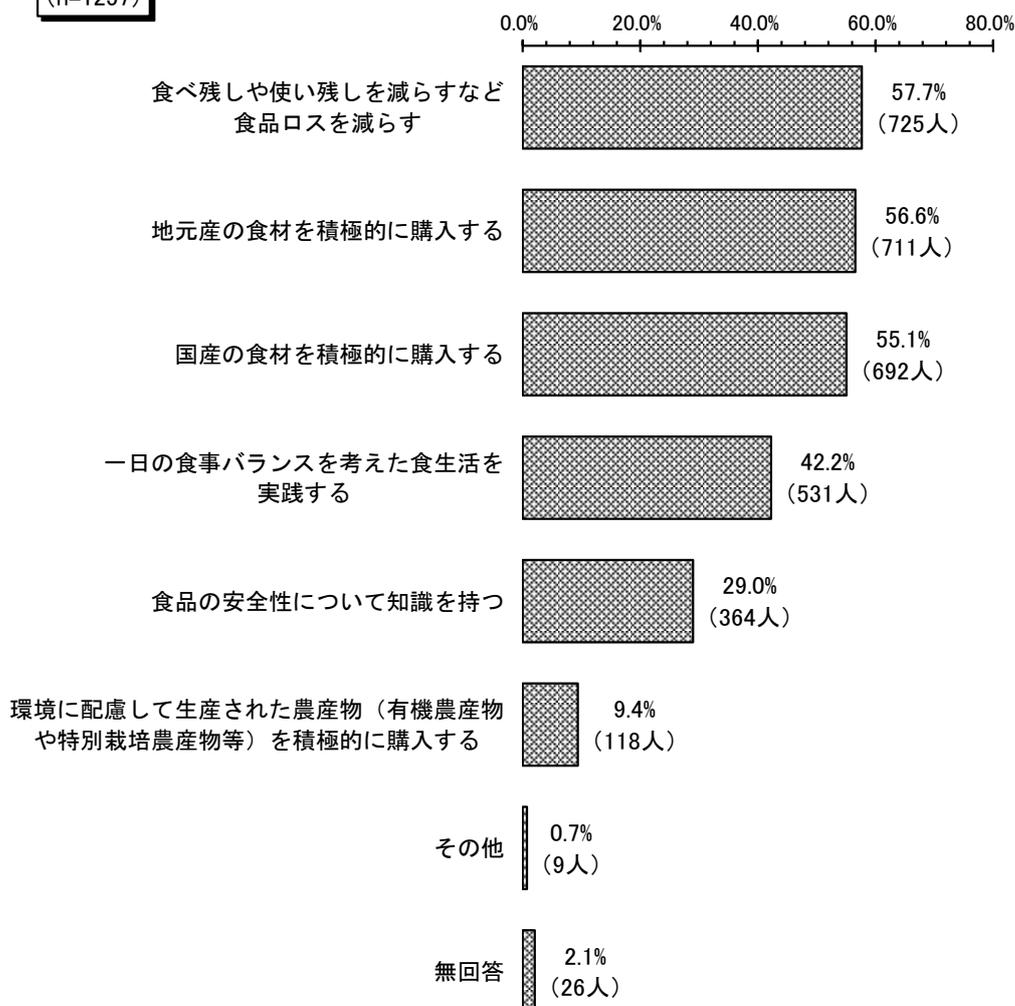
## 1 1. 農林水産業について

### (1) 農林水産物の購入や食生活で実践していること

問 35 ふだん、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。

あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。

全体  
(n=1257)



#### ※【参考】有機農産物・特別栽培農産物とは

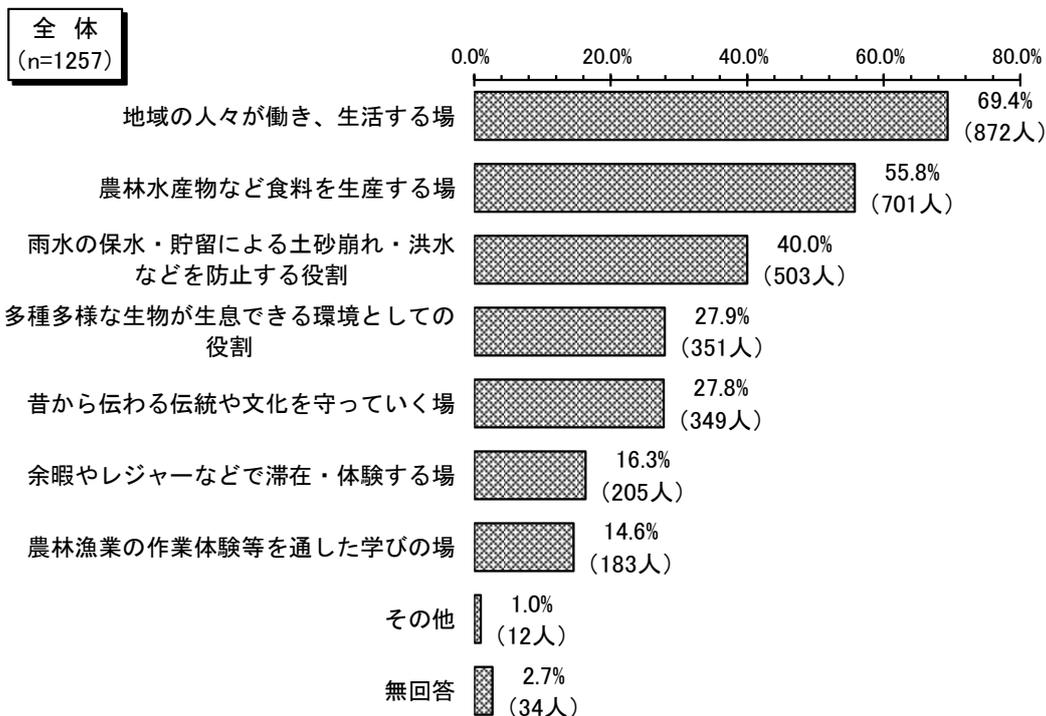
どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの、特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以下に減らして栽培されたもののこと。

農林水産物の購入や食生活で実践していることは、「食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす」(57.7%)、「地元産の食材を積極的に購入する」(56.6%)、「国産の食材を積極的に購入する」(55.1%)が多く、5割以上となっている。次いで、「一日の食事バランスを考えた食生活を実践する」(42.2%)が4割台などとなっている。

## (2) 農山漁村の役割として期待すること

問 36 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。

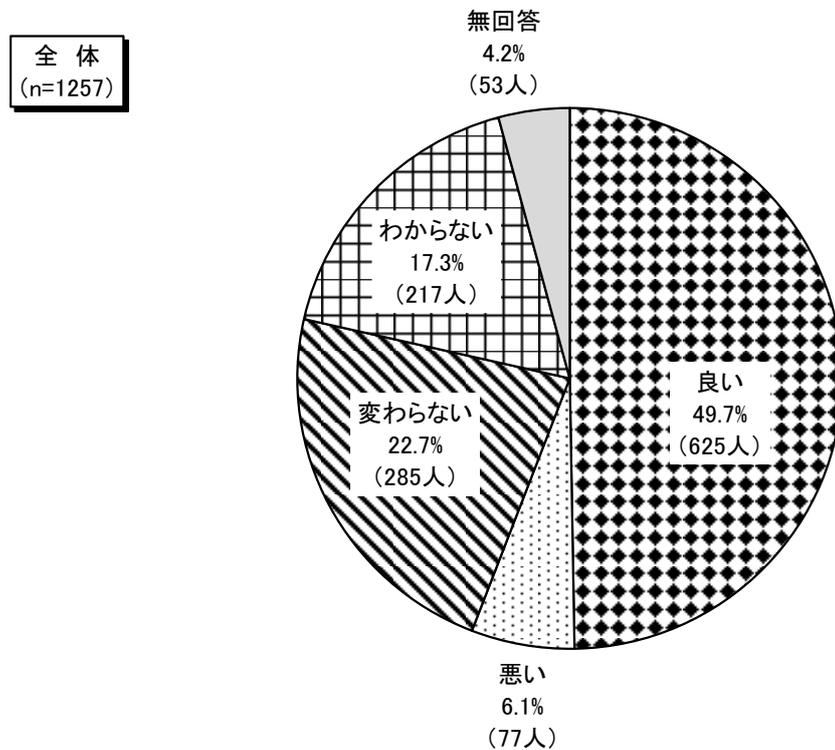


農山漁村の役割として期待することは、「地域の人々が働き、生活する場」(69.4%)が最も多く、約7割となっている。以下、「農林水産物など食料を生産する場」(55.8%)が5割半ば、「雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(40.0%)が約4割、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(27.9%)、「昔から伝わる伝統や文化を守っていく場」(27.8%)が2割台などとなっている。

## 1 2. 地域社会の安全・安心（治安）について

### （1）居住地の治安状況

問 37 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



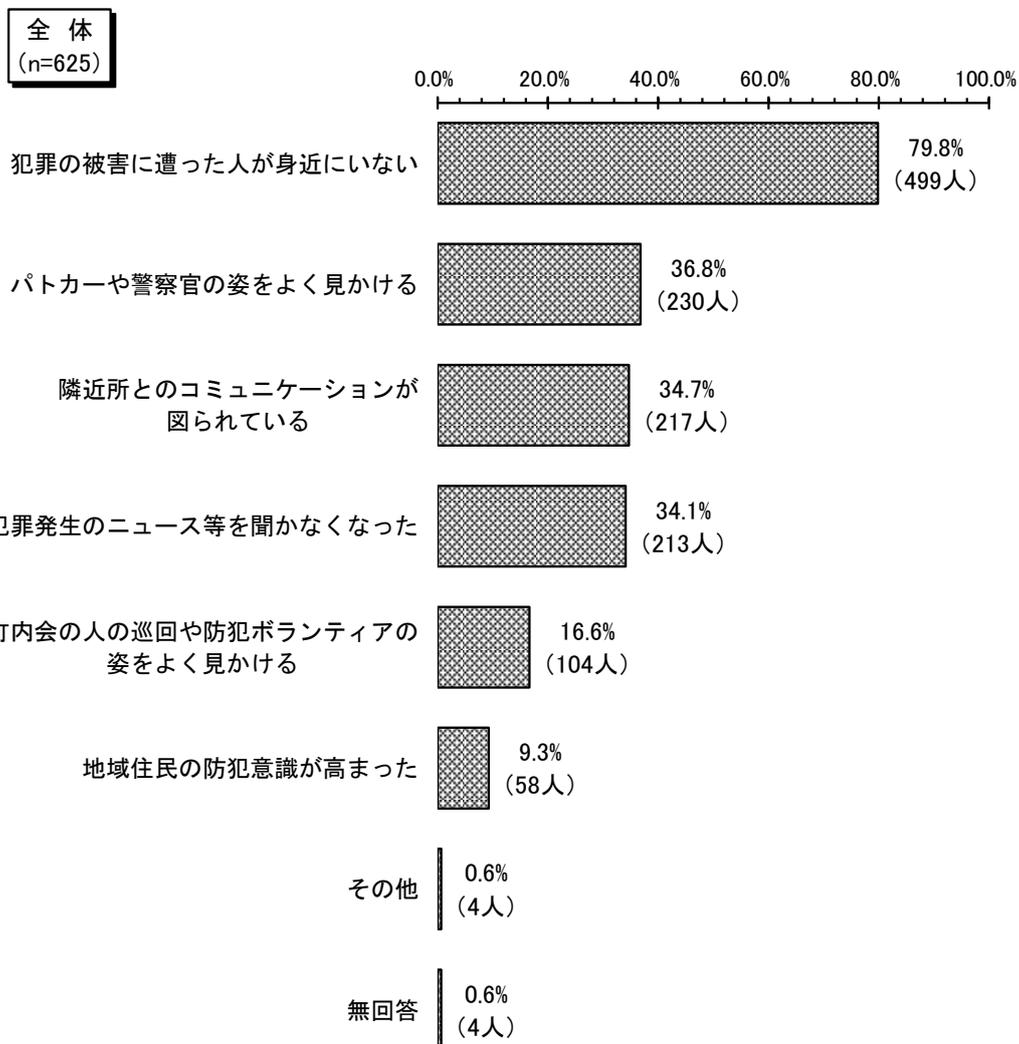
現在の居住地の治安状況が「良い」（49.7％）と思う人は約5割となっている。一方、治安状況が「悪い」（6.1％）と思う人は1割未満にとどまっている。

## (2) 治安状況が良いと思う理由

(問 37 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 38-1 問 37 で、良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



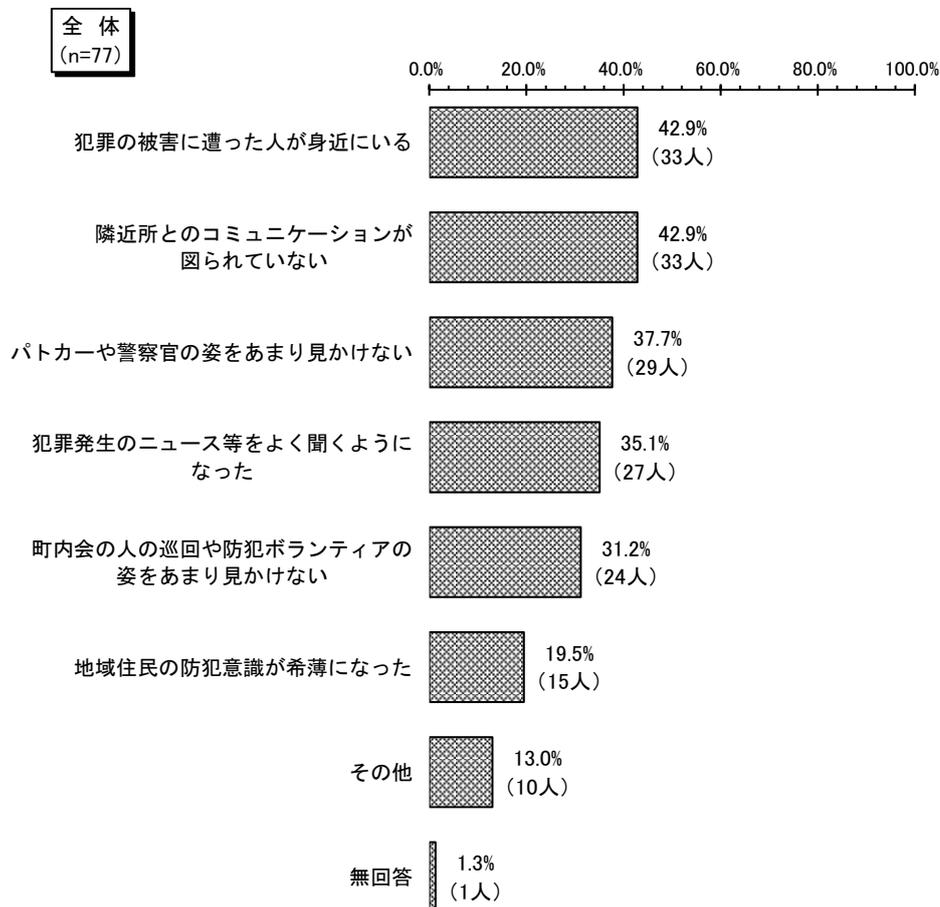
治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(79.8%)が最も多く、約8割となっている。以下、「パトカーや警察官の姿をよく見かける」(36.8%)、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(34.7%)、「犯罪発生ニュース等を聞かなくなった」(34.1%)が、3割半ばなどとなっている。

### (3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 37 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 38-2 問 37 で、悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

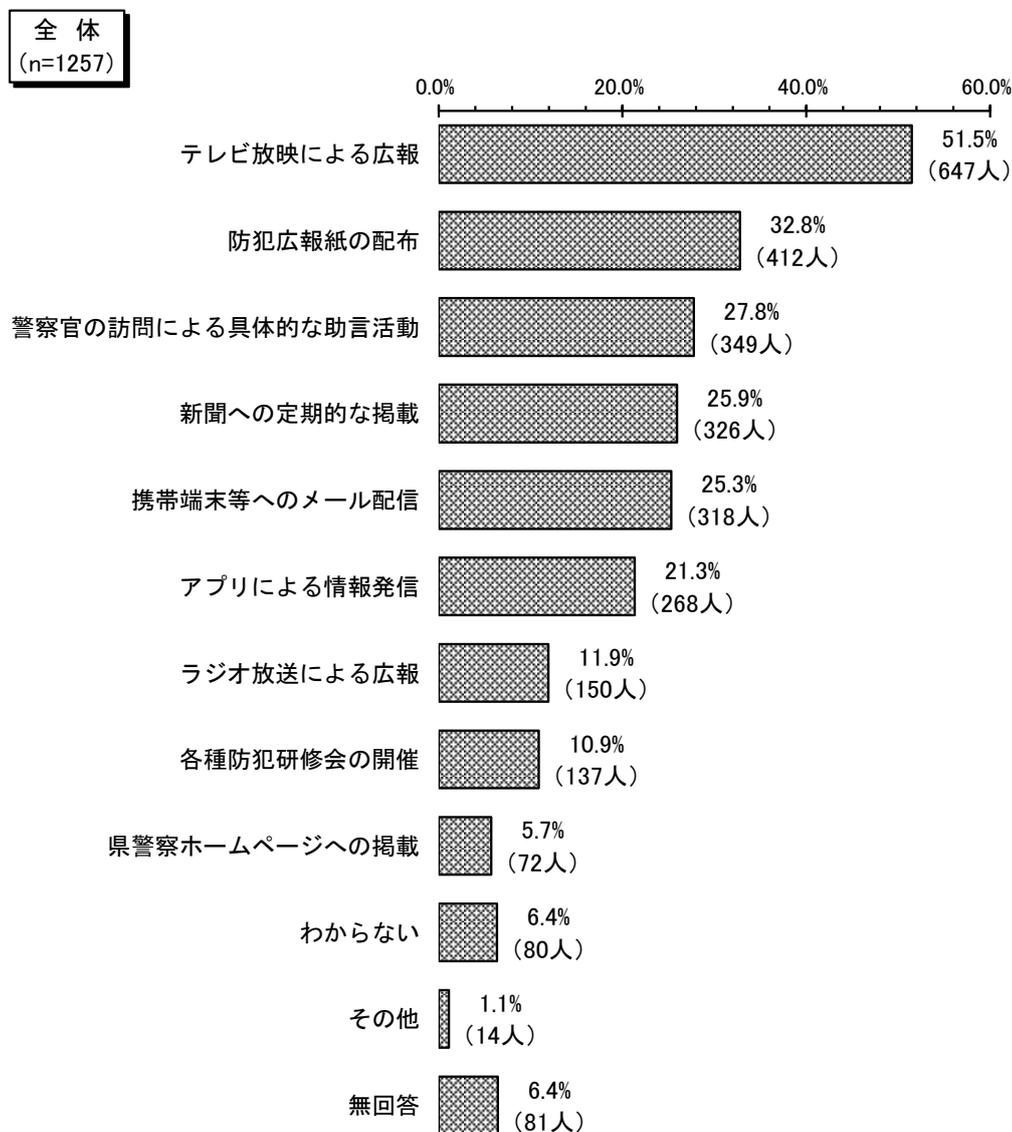


治安状況が悪いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」と「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(いずれも 42.9%) が最も高く、4割強となっている。以下、「パトカーや警察官の姿をあまり見かけない」(37.7%)、「犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった」(35.1%)、「町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない」(31.2%) が3割台などとなっている。

#### (4) 犯罪発生状況等の情報提供方法

問 39 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

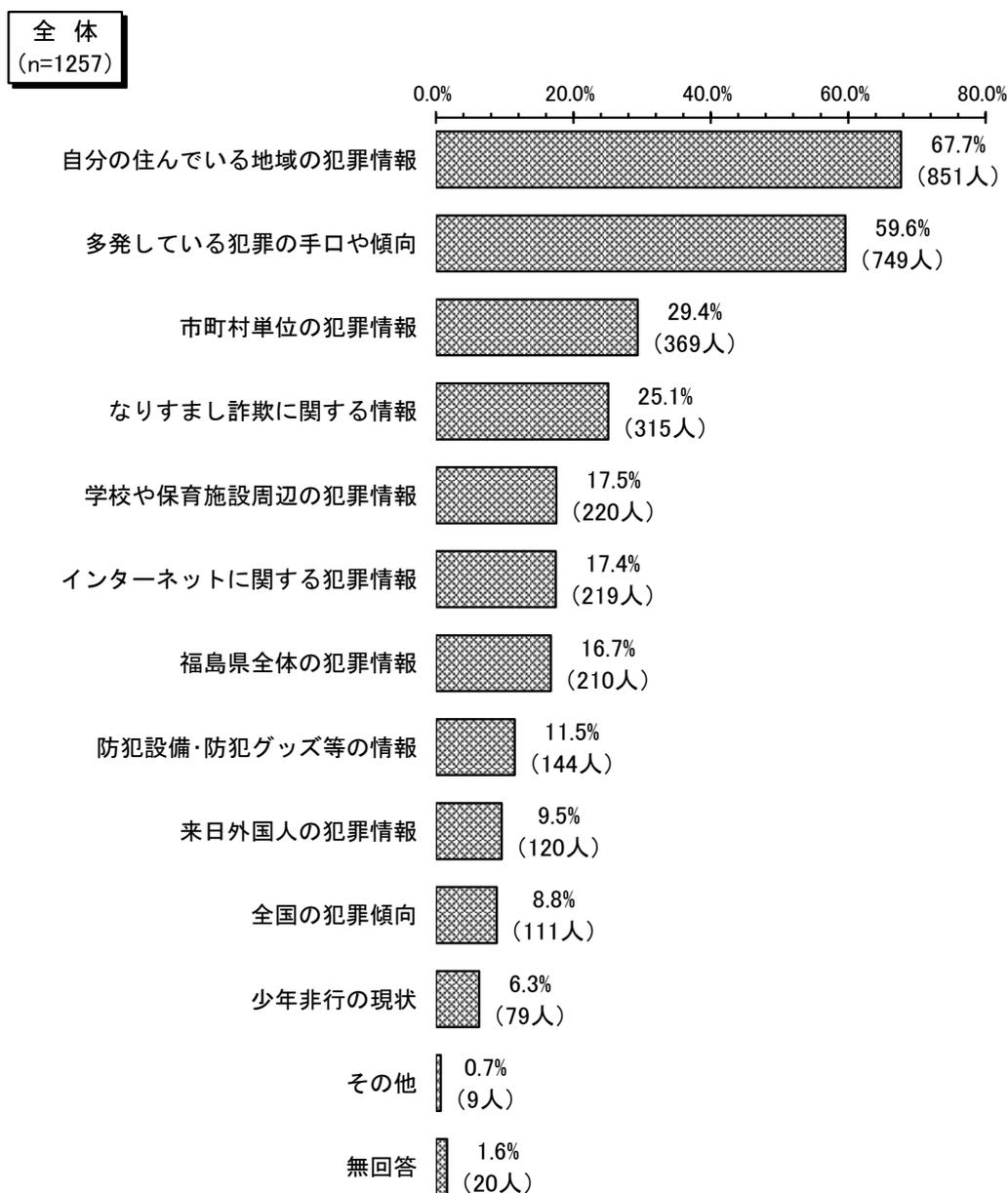


犯罪発生状況等の情報提供方法については、「テレビ放映による広報」(51.5%)が最も高く、約5割となっている。以下、「防犯広報紙の配布」(32.8%)が3割台、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(27.8%)、「新聞への定期的な掲載」(25.9%)、「携帯端末等へのメール配信」(25.3%)、「アプリによる情報発信」(21.3%)が2割台などとなっている。

## (5) 犯罪に関して知りたい情報

問 40 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



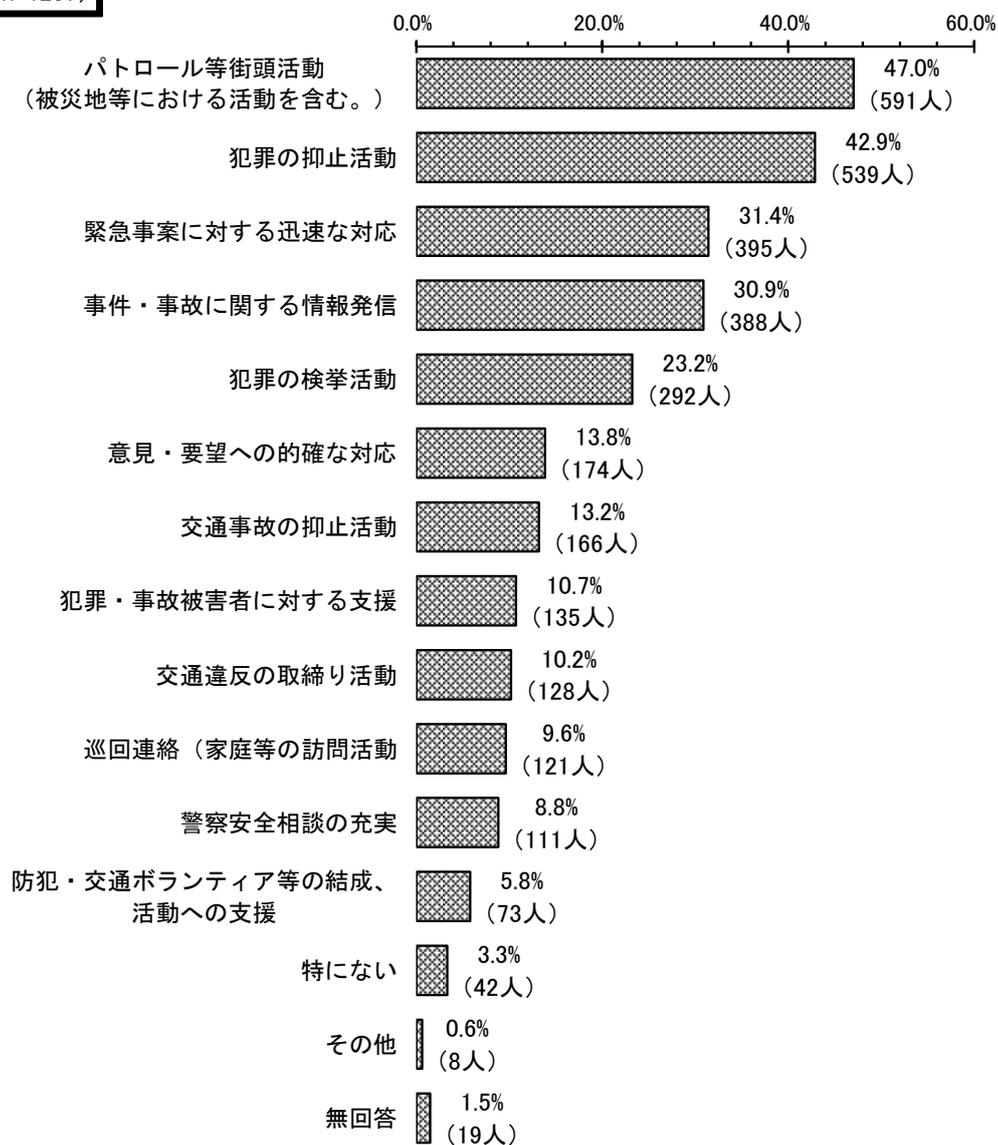
犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(67.7%)が最も高く、7割弱となっている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」(59.6%)が約6割となっている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(29.4%)、「なりすまし詐欺に関する情報」(25.1%)が2割台などとなっている。

## (6) 警察に強化してほしい活動

問 41 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=1257)



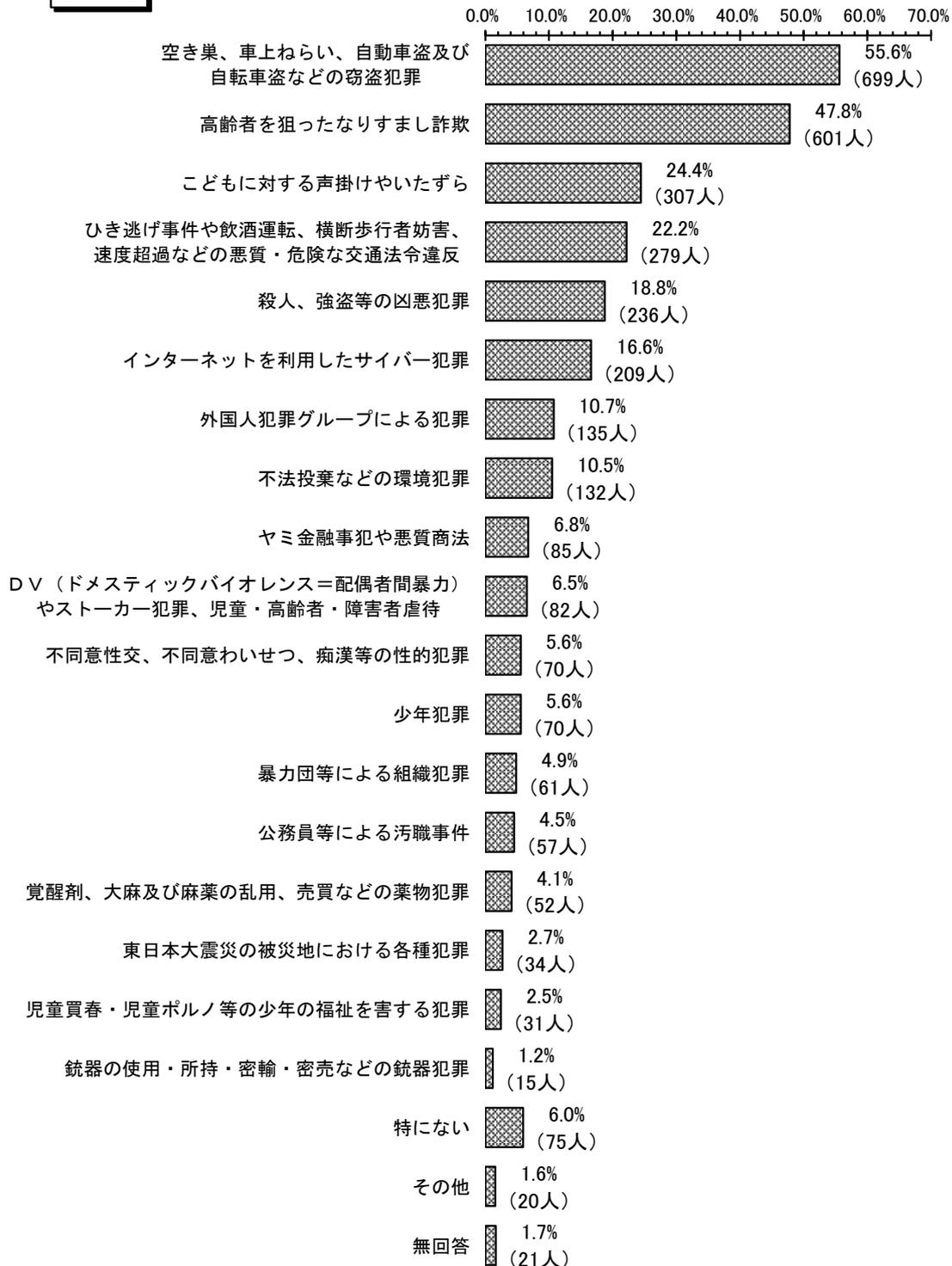
警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動(被災地等における活動を含む。)」(47.0%)の割合が最も多く、5割弱となっている。以下、「犯罪の抑止活動」(42.9%)が4割台、「緊急事案に対する迅速な対応」(31.4%)、「事件・事故に関する情報発信」(30.9%)が3割台、「犯罪の検挙活動」(23.2%)が2割台などとなっている。

## (7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

問 42 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体  
(n=1257)

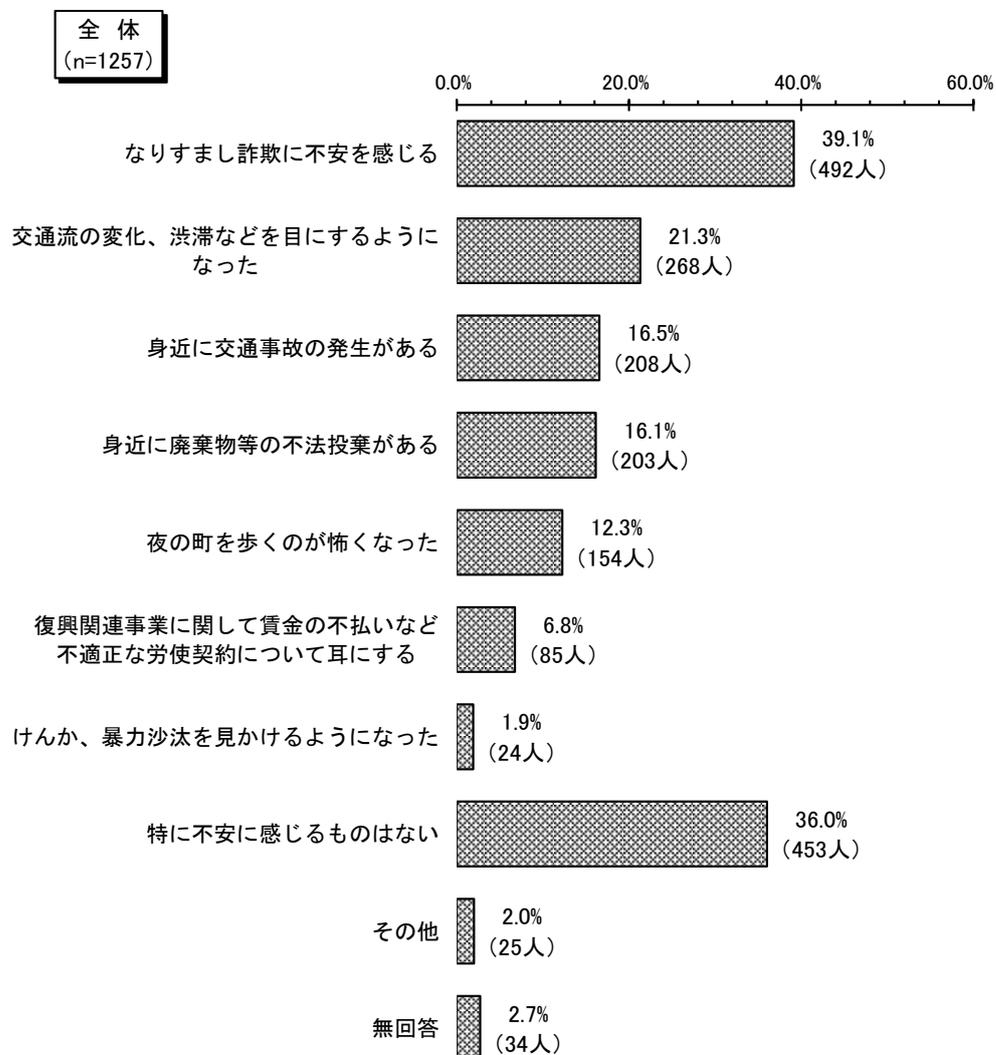


重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪」(55.6%)が最も高く、5割半ばとなっている。以下、「高齢者を狙ったなりすまし詐欺」(47.8%)が4割半ば、「子どもに対する声掛けやいたずら」(24.4%)、「ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反」(22.2%)が2割台などとなっている。

## (8) 身近に感じる不安

問 43 震災から13年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



身近に感じる不安については、「なりすまし詐欺に不安を感じる」(39.1%)が最も多く、約4割となっている。次いで、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(21.3%)が2割台、「身近に交通事故の発生がある」(16.5%)、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(16.1%)、「夜の町を歩くのが怖くなった」(12.3%)が1割台で続いている。なお、「特に不安に感じるものはない」(36.0%)が3割半ばとなっている。



### Ⅲ 調査票様式



# 令和6年度 福島県政世論調査 調 査 票

## 1 復興等に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取組
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取組
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償に関する情報
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 廃炉に向けた取組や現状に関する情報
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については、主に何で入手していますか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新聞
- 2 テレビ・ラジオのニュースなど
- 3 インターネット（行政以外のページ）
- 4 インターネット（県のホームページ・フェイスブック・エックスなど）
- 5 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）
- 6 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）
- 7 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど）
- 8 行政以外の印刷物
- 9 口コミ
- 10 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問3 あなたは、県の広報活動に満足していますか。  
次のア～サについて、選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

【選択肢】

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 満足している          | 4 満足していない             |
| 2 どちらかといえば満足している  | 5 見た(聴いた)ことがないのでわからない |
| 3 どちらかといえば満足していない |                       |

ア	広報誌	「つながる ふくしま ゆめだより」	1	2	3	4	5
イ	新聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3	4	5
ウ	テレビ	「キビタンGO！」 （福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）	1	2	3	4	5
エ		「おしえてキビタン！」 （福島中央テレビ：毎週土曜日 20:54～20:57） （再放送 翌月曜日 11:25～11:30）	1	2	3	4	5
オ	ラジオ	「キビタンスマイル」 （ふくしまFM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）	1	2	3	4	5
カ	インターネット	福島県ホームページ	1	2	3	4	5
キ		Facebook（フェイスブック） 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」	1	2	3	4	5
ク		Instagram（インスタグラム） 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」	1	2	3	4	5
ケ		YouTube（ユーチューブ） 「福島県公式チャンネル」	1	2	3	4	5
コ		X（旧Twitter） 「福島県公式X」	1	2	3	4	5
サ		LINE（ライン） 「福島県公式LINE」	1	2	3	4	5

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 農産物や県産品の安全性	9 観光情報、来県の呼びかけ
2 被災者の生活状況、被災者の声	10 再生可能エネルギーやロボット産業などにおける先進的な取組
3 復興に向けてがんばる県民の姿	11 県内外で開催される本県関係のイベント情報
4 農産物や県産品の魅力	12 福島県への移住に関する情報
5 除染の進捗状況	13 特にない
6 震災の被害及び復旧・復興の状況	14 その他(具体的に: )
7 震災後の応援に対する感謝の気持ち	
8 放射線のモニタリング情報	

## 2 安全で安心な県づくりについて

福島県では、「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例」に基づき、真に安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問5 次のア～タの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
 選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(注) 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。

- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
- ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

### 【選択肢】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 はい              | 4 どちらかといえば「いいえ」 |
| 2 どちらかといえば「はい」    | 5 いいえ           |
| 3 どちらともいえない・該当しない |                 |

	1	2	3	4	5
ア あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。					
イ あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いませんか。					
ウ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。					
エ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。					
オ 現在、あなたが住んでいる地域(仮設住宅・借り上げ住宅も含む)の治安は良いと思いませんか。					
カ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いませんか。					
キ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いませんか。					
ク あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。					
ケ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。					
コ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いませんか。					
サ あなたは、日ごろ、放射線の影響が気になりますか。					
シ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。					
ス あなたは、福島県が令和6年3月に運用を開始した「福島県防災アプリ」を知っていますか。					
セ あなたは、災害時の取るべき行動について考える「マイ避難」の取組を知っていますか。					
ソ 「福島県防災アプリ」や「ふくしまマイ避難ノート」を活用するなどして、自分(自宅)の避難計画を作成していますか。					
タ あなたが暮らしている中で、消防団の活動や存在を身近に感じることはありますか。					

### 3 福島県の総合計画について

福島県では、県が目指すふくしまの将来の姿や、その実現に向けた政策や施策を示した総合計画（県の行政運営上の最上位計画）を策定し、令和4年度から取組をスタートしています。

県民の皆さんの、計画の取組に関する考えをお伺いし、総合計画の進行管理や施策の見直しに活用してまいります。

問6 次のア～ヌの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
 選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

- (注) 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。
- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
  - ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

#### 【選択肢】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 はい              | 4 どちらかといえば「いいえ」 |
| 2 どちらかといえば「はい」    | 5 いいえ           |
| 3 どちらともいえない・該当しない |                 |

ア あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
エ あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。	1	2	3	4	5
オ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。	1	2	3	4	5
カ あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域では、性別や年齢、国籍、障がいの有無など人々の多様性を理解した社会づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ク あなたの暮らす地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

サ	県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。	1	2	3	4	5
ソ	あなたは、福島県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
タ	あなたは、日ごろ、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5
チ	あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。	1	2	3	4	5
ツ	あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。	1	2	3	4	5
テ	県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ト	あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ナ	あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)を利用したいと思いますか(既に利用している人を含む)。	1	2	3	4	5
ニ	あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5
ヌ	あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。	1	2	3	4	5

## 4 福島イノベーション・コースト構想について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想<sup>\*</sup>を推進し、浜通り地域等の産業基盤の再生に取り組んでおります。各取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

※【参考】「福島イノベーション・コースト構想」とは

福島イノベーション・コースト構想(福島・国際研究産業都市構想)とは、東日本大震災と原子力災害によって大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復するため、この地域を新たな産業が次々と生まれる場所にする 것을目指すものです。令和5年4月1日には、構想を更に発展させ、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力や産業競争力の強化に貢献する、「創造的復興の中核拠点」として、福島国際研究教育機構(F-REI)が国によって浪江町に設立されました。構想を実現するために、以下の分野を中心に取り組んでいます。

・原子力発電所の廃炉に向けた取組

廃炉国際共同研究センター(富岡町)での研究開発、地元企業を廃炉産業へ参入しやすくするための取組など

・ロボット産業を活発にするための取組

福島ロボットテストフィールド(南相馬市)を活用したロボット・ドローン等の実証実験など

・新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組

福島水素エネルギー研究フィールド(浪江町)での研究開発や環境負荷が低い製造技術の開発など

・農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組

自動運転トラクター、ドローンによる農薬散布などの先端技術を活用した農業など

・医療関連で利用できる技術を支える取組

健康状態の分析・確認ができる衣類や介護現場の負担を軽減する機器の開発など

・航空宇宙で利用できる技術を支える取組

空飛ぶクルマの開発や宇宙での活用を想定した技術開発など

・子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組

ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)での教育活動、大学や地元企業等の力を借りた特色ある教育プログラムなど

・福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組

イベントやインターネット(ホームページ、フェイスブックなど)での情報発信、ロボット、エネルギー、農林水産業など F-REI が行う5分野の研究開発の紹介、産学官の交流イベントや若者世代へのセミナーの開催、東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)の運営など

問7 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |    |  |   |
|----|--|---|
| 1  | 原子力発電所の廃炉に向けた取組                        |   |
| 2  | ロボット産業を活発にするための取組                      |   |
| 3  | 新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組      |   |
| 4  | 農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組               |   |
| 5  | 医療関連で利用できる技術を支える取組                     |   |
| 6  | 航空宇宙で利用できる技術を支える取組                     |   |
| 7  | 子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組                 |   |
| 8  | 福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組    |   |
| 9  | 福島国際研究教育機構(F-REI)による研究開発や産業化、人材育成などの取組 |   |
| 10 | 特にない                                   |   |
| 11 | その他(具体的に：                              | ) |

問8 今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 1  | 原子力発電所の廃炉に向けた取組                     |
| 2  | ロボット産業を活発にするための取組                   |
| 3  | 新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組   |
| 4  | 農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組            |
| 5  | 医療関連で利用できる技術を支える取組                  |
| 6  | 航空宇宙で利用できる技術を支える取組                  |
| 7  | 子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組              |
| 8  | 福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組 |
| 9  | 福島国際研究教育機構（F-REI）の活動と連携する取組         |
| 10 | 特になし                                |
| 11 | その他（具体的に： _____ )                   |

問9 今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |    |  |
|----|--|
| 1  | 新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること                            |
| 2  | 企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと                                 |
| 3  | 地域企業の技術力や経営力を高めるための支援を行うこと                             |
| 4  | 産学官（民間企業、大学などの教育機関、行政機関）や企業同士が力を合わせることに                |
| 5  | 浜通り地域等での事業展開に関心のある人を呼び込むこと                             |
| 6  | 人材の育成・確保（地元高校生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼び込みなど）をすること |
| 7  | 福島イノベーション・コースト構想についての情報を発信すること                         |
| 8  | 福島国際研究教育機構（F-REI）と地域の産学官との広域的なネットワークを形成すること            |
| 9  | 特になし   |
| 10 | その他（具体的に： _____ )                                      |

## 5 県内のプロスポーツチームについて

福島県では、地域活性化を図るため、県内のプロスポーツチーム\*と連携し、各種事業を展開しております。

県内のプロスポーツチームに対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

### ※ 県内のプロスポーツチーム

福島ユナイテッドFC（サッカー）、いわきFC（サッカー）、  
福島レッドホープス（野球）、福島ファイヤーボンズ（バスケットボール）、  
デンソーエアリービーズ（バレーボール）

問10 県内のプロスポーツチームについて伺います。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった。
- 2 県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に関心はない。
- 3 県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない。→（問11へ）
- 4 県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある。

（問10で「3」と回答した方にお尋ねします。）

問11 試合を現地で観戦しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 試合会場が遠い（交通アクセスが悪い）。
- 2 いつ試合をやっているのかが、分からない。
- 3 チケットが高い。
- 4 チケットの入手方法など、調べるのが面倒。
- 5 選手をよく知らない。
- 6 時間がない。
- 7 わざわざ観に行くほどの試合内容ではない（盛り上がらない）。
- 8 子どもを連れて行くのが大変。

## 6 チャレンジふくしま県民運動について

福島県では、平成28年度から、「健康ふくしま みんなで実践！」をテーマとした、チャレンジふくしま県民運動を展開しています。  
健康づくりに対する県民の皆さんの意識や実践の現状を、今後の施策に役立ててまいります。

問12 「健康」をテーマとしたチャレンジふくしま県民運動について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1 知っている            |  |
| 2 聞いたことがある         |  |
| 3 名前を聞いたことがない      |  |
| 4 その他(具体的に: _____) |  |

問13 例えば、減塩、ウォーキング(ウォークビズ\*含む)等の軽い運動、スポーツ、サークル活動のような心身の健康づくり(食・運動・社会参加による健康づくり)を最近行っていますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「ウォークビズ」とは

健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 実践している    | } → (問14へ) |
| 2 少しは実践している |            |
| 3 実践していない   | → (問15へ)   |

(問13で「1」又は「2」と回答した方にお尋ねします。)

問14 あなたは、この1年間にどの程度の頻度で運動(ウォーキング等の軽い運動含む)やスポーツを実施されましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 週に5日以上 | 5 月に1~3日   |
| 2 週に3日以上 | 6 3か月に1~2日 |
| 3 週に2日以上 | 7 年に1~3日   |
| 4 週に1日以上 | 8 わからない    |

(問13で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問15 健康づくりを実践していない理由について、あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 仕事や家事等で、実践する時間がない | 5 お金が掛かる           |
| 2 興味のある取組がない        | 6 健康づくりに興味・関心がない   |
| 3 実践する場所・施設がない      | 7 その他(具体的に: _____) |
| 4 健康づくりに関する情報がない    |                    |

## 7 エシカル消費（倫理的消費）について

福島県では、県民のエシカル消費<sup>\*</sup>に関する認知度向上と消費行動の実践を促す効果的な普及啓発活動のため、県民の皆さんの現状をお伺いし、持続可能な社会を目指し今後の施策に役立ててまいります。

※【参考】「エシカル消費」とは

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。

《具体例》○電気や水などの消費資源の無駄をなくす

○生活の中でプラスチックを減らす

○地元の農産品や伝統品を購入する

問16 あなたは、「エシカル消費」という言葉を知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1 聞いたことがあります、意味も知っている | } → (問17へ) |
| 2 聞いたことがあるが、意味は知らない   |            |
| 3 知らない(聞いたことがない)      | → (問18へ)   |

(問16で「1」又は「2」と回答した方にお尋ねします。)

問17 「エシカル消費」という言葉を何で知りましたか。  
あてはまるものいくつでも○をつけてください。

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1 テレビ   | 4 インターネット     |
| 2 新聞・雑誌 | 5 学校での学習      |
| 3 広報誌   | 6 その他(具体的に： ) |

問18 エシカル消費につながる行動について、どの程度実践していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1 よく実践している    | } → (問19へ) |
| 2 時々実践している    |            |
| 3 あまり実践していない  |            |
| 4 まったく実践していない |            |

(問18で「1」又は「2」と回答した方にお尋ねします。)

問19 具体的にどのようなことを実践していますか。  
あてはまるものいくつでも○をつけてください。

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1 マイバッグ・マイカップ等の利用            | 11 国産品の購入               |
| 2 リサイクル活動・購入                 | 12 食品ロス削減               |
| 3 電気をこまめに消す等の省エネ             | 13 エシカル消費につながる事業を行う     |
| 4 太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーの利用・購入 | 企業株・社債等の購入              |
| 5 環境に配慮した商品の購入               | 14 被災地へお金の寄付や物資提供       |
| 6 フェアトレード商品の購入               | 15 被災地以外の国内外への金銭寄付や物資提供 |
| 7 寄付型商品の購入                   | 16 地域コミュニティ活動への参加       |
| 8 有機食品・製品の購入                 | 17 エシカル消費につながる取組を行う     |
| 9 エシカルファッション・エシカルジュエリー       | 団体への参加                  |
| 10 地産地消                      | 18 その他(具体的に： )          |

## 8 自転車の安全利用について

福島県では、自転車の安全で適正な利用を促進し、もって歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、県民が安全に安心して暮らすことができる社会を実現するため、令和3年10月に「福島県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「自転車条例」といいます。）」を制定いたしました。

県民の皆様の自転車の利用状況等をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問20 あなたは、ふだんの生活で自転車をどのくらい利用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ほぼ毎日(週に4~7日)利用している	} (問21へ)
2 週に2、3日程度利用している	
3 週に1日程度利用している	
4 月に1日程度利用している	
5 年に数日程度利用している	
6 利用していない	→ (問26へ)

(問20で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問21 令和4年4月1日から自転車条例により自転車損害賠償責任保険等<sup>\*</sup>(以下「自転車保険」といいます。)への加入が義務化されましたが、あなたは、自転車保険に加入していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「自転車損害賠償責任保険等」とは

自転車の運行によって他人の生命又は身体が害された場合における損害を填補することができる保険又は共済のことをいいます。

1 加入している
2 加入していない
3 わからない

問22 あなたは、道路交通法が改正され、令和5年4月1日から全ての自転車利用者の方を対象にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 知っている
2 知らない

(問22で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問23 あなたは、自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことを何で知りましたか。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 県・市町村の広報誌	6 新聞
2 県・市町村のホームページ	7 テレビ・ラジオ
3 県・市町村のチラシ・ポスター	8 SNS
4 保険会社のチラシ	9 その他
5 自転車店の店頭	(具体的に: )

問24 あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |               |
|---------------|
| 1  いつも着用している  |
| 2  ときどき着用している |
| 3  着用していない    |

(問24で「2」又は「3」と回答した方にお尋ねします。)

問25 あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。  
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- |                           |                               |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1  値段が高いから                | 6  特に危険を感じないから                |
| 2  見た目が悪いから               | 7  ヘルメットの着用で怪我を防げるの<br>か疑問だから |
| 3  重い、蒸れるなど不快だから          | 8  その他                        |
| 4  髪型が崩れるのが嫌だから           | (具体的に: )                      |
| 5  移動先での保管・持ち運びが面倒<br>だから |                               |

問26 自転車の交通安全に関して、危険を感じたことや日頃感じていることなどご意見  
がありましたらお聞かせください。

(自由記載)

※ 記入例 音楽を聴きながらの運転、傘さし運転、二台以上での並走等を危険に感じた

【具体的に:  
  
  
】

## 9 地域の医療について

福島県では、医療計画にもとづき、地域の医療提供体制の確保・充実のための取組を行っています。県民の皆さんに地域の医療についてどのように思っているか、どのように行動されているかをお伺いし、今後の医療施策に役立ててまいります。

問27 あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | いつも決まってみてもらう病院・診療所へ行く     |
| 2 | 身近な診療所（医院・クリニック）へ行く       |
| 3 | 大学病院や総合病院などのできるだけ大きな病院へ行く |
| 4 | わからない                     |
| 5 | その他（具体的に： _____）          |

問28 あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師（かかりつけ医）がいますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1 | いる                     |
| 2 | いない（病気をしない、または必要を感じない） |
| 3 | いない（その都度都合の良い医師にかかる）   |
| 4 | いない（適当なかかりつけ医が身近にいない）  |
| 5 | いない（その他具体的に： _____）    |

問29 あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。  
知っているものすべてに○をつけてください。

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | 福島県子ども救急電話相談（#8000）       |
| 2 | 福島県救急電話相談（#7119）          |
| 3 | 福島県医療相談センター（024-522-4546） |
| 4 | 福島県医療計画                   |
| 5 | 知っているものはない                |

問30 あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |   |           |   |                    |
|---|-----------|---|--------------------|
| 1 | 保健医療専門誌   | 6 | インターネット（医療情報ネット除く） |
| 2 | 健康関連の本や雑誌 | 7 | 県や市町村の広報誌          |
| 3 | テレビ       | 8 | 友人・知人              |
| 4 | ラジオ       | 9 | その他                |
| 5 | 医療情報ネット   |   | （具体的に： _____）      |

問3 1 あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何か。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 病気の症状や予防・治療に関する情報	7 急病人やけが人に対する応急手当に関する情報
2 診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報	8 訪問診療・看護やヘルパーなどの在宅ケアサービスに関する情報
3 医療機関の診療日・診療時間に関する情報	9 リハビリテーションに関する情報
4 医療機関の医療機器保有状況に関する情報	10 特になし
5 医療機関が連携している医療施設や介護施設に関する情報	11 その他 (具体的に: )
6 薬の効能、副作用や服用方法に関する情報	

## 10 ロボット・ドローンの活用について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想に基づき、南相馬市の福島ロボットテストフィールドを中核とし、ロボット・ドローン産業の集積を目指して様々な取組を進めています。

ロボットやドローンに関する県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

※【参考】「ドローン」とは

遠隔操作または自動操縦により飛行する無人の機体です。私たちの生活にも関わる様々な分野で活用されるよう研究開発が行われ、実用化が進んでいます。

問32 労働力不足などを踏まえ、今後、日常生活の中にロボット・ドローンが導入される機会が増えることが想定されますが、どのように受け止めますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                |
|----------------|
| 1 導入を進めるべき     |
| 2 導入を進めるべきではない |
| 3 今は判断できない     |
| 4 その他（具体的に： )  |

問33 県では将来のドローンによる配送サービス（宅配便、日用品の買い物、出前など）の開始を見据え、一部の地域でドローンによる配送の実証を行う予定です。  
そこで、将来的にドローンによる配送サービスが始まったら利用してみたいと思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |               |
|---------------|
| 1 利用してみたい     |
| 2 利用したくない     |
| 3 今は判断できない    |
| 4 その他（具体的に： ) |

問34 航空法の改正により、条件を満たすドローンが人や住宅の上空を飛ぶことができるようになりましたが、実際に自分の周りをドローンが飛ぶようになった場合、どのように思いますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                    |
|--------------------|
| 1 全く気にならない         |
| 2 安全性が確保されていれば問題ない |
| 3 できればやめてほしい       |
| 4 絶対にやめてほしい        |
| 5 その他（具体的に： )      |

## 11 農林水産業について

福島県の農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問35 ふだん、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。  
あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。

- 1 国産の食材を積極的に購入する
- 2 地元産の食材を積極的に購入する
- 3 一日の食事バランスを考えた食生活を実践する
- 4 食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす
- 5 環境に配慮して生産された農産物（有機農産物や特別栽培農産物<sup>※</sup>等）を積極的に購入する
- 6 食品の安全性について知識を持つ
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

※【参考】「有機農産物・特別栽培農産物」とは

どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。  
有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの。特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以上に減らして栽培されたもののこと。

問36 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。  
あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。

- 1 地域の人々が働き、生活する場
- 2 農林水産物など食料を生産する場
- 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
- 4 農林漁業の作業体験等を通じた学びの場
- 5 雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割
- 6 昔から伝わる伝統や文化を守っていく場
- 7 余暇やレジャーなどで滞在・体験する場
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 12 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問37 現在あなたが住んでいる地域(仮設住宅・借り上げ住宅も含む)の治安は良いと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 良い	}	→ (問38へ)
2 悪い		
3 変わらない	}	→ (問39へ)
4 わからない		

(問37で「1」又は「2」とお答えの方にお尋ねします。)

問38 問38で治安が「良い」又は「悪い」と思う理由は何ですか。  
 どちらかの枠の中から、あてはまるもの3つまで○をつけてください。

【良いと思った方】



※ 両方の枠を選ぶことはできません。

【悪いと思った方】



1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない
2 町内会や人の巡回や防犯ボランティアの姿をよく見かける
3 パトカーや警察官の姿をよく見かける
4 隣近所とのコミュニケーションが図られている
5 犯罪発生ニュース等を聞かなくなった
6 地域住民の防犯意識が高まった
7 その他(具体的に: )

8 犯罪の被害に遭った人が身近にいる
9 町内会や人の巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない
10 パトカーや警察官の姿をあまり見かけない
11 隣近所とのコミュニケーションが図られていない
12 犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった
13 地域住民の防犯意識が希薄になった
14 その他(具体的に: )

(全員にお尋ねします。)

問39 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 各種防犯研修会の開催	6 ラジオ放送による広報
2 警察官の訪問による具体的な助言活動	7 新聞への定期的な掲載
3 防犯広報紙の配布	8 携帯端末等へのメール配信
4 県警察ホームページへの掲載	9 アプリによる情報発信
5 テレビ放映による広報	10 わからない
	11 その他(具体的に: )

問 4 0 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。  
 あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 自分の住んでいる地域の犯罪情報	7 多発している犯罪の手口や傾向
2 市町村単位の犯罪情報	8 なりすまし詐欺に関する情報
3 福島県全体の犯罪情報	9 来日外国人の犯罪情報
4 全国の犯罪傾向	10 インターネットに関する犯罪情報
5 学校や保育施設周辺の犯罪情報	11 防犯設備・防犯グッズ等の情報
6 少年非行の現状	12 その他(具体的に: )

問 4 1 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと  
 考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 犯罪の検挙活動	8 犯罪・事故被害者に対する支援
2 犯罪の抑止活動	9 事件・事故に関する情報発信
3 パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。)	10 警察安全相談の充実
4 巡回連絡(家庭等の訪問活動)	11 意見・要望への的確な対応
5 緊急事案に対する迅速な対応	12 防犯・交通ボランティア等の結成、 活動への支援
6 交通違反の取締り活動	13 特にない
7 交通事故の抑止活動	14 その他(具体的に: )

問 4 2 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪  
 は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
2 空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪
3 こどもに対する声掛けやいたずら
4 不同意性交、不同意わいせつ、痴漢等の性的犯罪
5 高齢者を狙ったなりすまし詐欺
6 少年犯罪
7 児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪
8 DV(ドメスティックバイオレンス=配偶者間暴力)やストーカー犯罪、 児童・高齢者・障害者虐待
9 ヤミ金融事犯や悪質商法
10 インターネットを利用したサイバー犯罪
11 ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な 交通法令違反
12 暴力団等による組織犯罪
13 外国人犯罪グループによる犯罪
14 公務員等による汚職事件
15 覚醒剤、大麻及び麻薬の乱用、売買などの薬物犯罪
16 不法投棄などの環境犯罪
17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
19 特にない
20 その他(具体的に: )

問43 震災から13年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 夜の町を歩くのが怖くなった                      |
| 2 | けんか、暴力沙汰を見かけるようになった                |
| 3 | 身近に交通事故の発生がある                      |
| 4 | 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった             |
| 5 | 身近に廃棄物等の不法投棄がある                    |
| 6 | 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする |
| 7 | なりすまし詐欺に不安を感じる                     |
| 8 | 特に不安を感じるものはない                      |
| 9 | その他（具体的に： _____）                   |

～ あなたご自身についてお答えください～

Q1 あなたの性別（自認する性）をお知らせください。

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1 | 男 | 2 | 女 |
|---|---|---|---|

Q2 あなたの満年齢をお知らせください。（令和6年7月1日現在）

- |   |        |   |        |    |        |
|---|--------|---|--------|----|--------|
| 1 | 15～19歳 | 5 | 35～39歳 | 9  | 55～59歳 |
| 2 | 20～24歳 | 6 | 40～44歳 | 10 | 60～64歳 |
| 3 | 25～29歳 | 7 | 45～49歳 | 11 | 65～69歳 |
| 4 | 30～34歳 | 8 | 50～54歳 | 12 | 70歳以上  |

Q3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。  
なお、複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください。

- |    |                                     |
|----|-------------------------------------|
| 1  | 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者）          |
| 2  | 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者）  |
| 3  | 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者） |
| 4  | 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上）                 |
| 5  | 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）            |
| 6  | 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など）             |
| 7  | パートタイマー・アルバイト・フリーター・派遣・嘱託など         |
| 8  | 専業主婦・主夫                             |
| 9  | 学生・生徒                               |
| 10 | 無職                                  |
| 11 | その他（具体的に： _____）                    |

Q4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

（震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

（市・町・村）
---------

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

※ 同封の返信用封筒に入れ、令和6年7月10日（水）までに切手を貼らずに投函願います。



#### IV 過去に実施した県政世論調査項目一覧



令和5年度（12項目44問） 標本数 2,000 回収率 56.8%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) チャレンジふくしま県民運動について
- (6) 水に関する意識について
- (7) 生物多様性について
- (8) エシカル消費（倫理的消費）について
- (9) 自転車の安全利用について
- (10) 買い物環境について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和4年度（12項目49問） 標本数 2,000 回収率 64.4%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) チャレンジふくしま県民運動について
- (6) 水に関する意識について
- (7) 生物多様性について
- (8) エシカル消費（倫理的消費）について
- (9) 自転車の安全利用について
- (10) 少子化対策について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和3年度（10項目37問） 標本数 2,000 回収率 65.2%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) チャレンジふくしま県民運動について
- (6) ユニバーサルデザインについて
- (7) 自転車の安全利用について
- (8) 食育について
- (9) 農林水産業について
- (10) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和2年度（12項目29問） 標本数 1,300 回収率 64.5%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) キャッシュレス決済サービスの利用について
- (3) 安全で安心な県づくりについて
- (4) 県総合計画について
- (5) 福島イノベーション・コースト構想について
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 水環境について
- (8) ごみ対策について
- (9) 食育について
- (10) 農林水産業について
- (11) 福島県総合教育計画について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和元年度（11項目32問） 標本数 1,300 回収率 47.5%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 県総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) 土地利用について
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 生涯学習について
- (8) 生物多様性について
- (9) ユニバーサルデザインについて
- (10) 農林水産業について
- (11) 地域社会の安全・安心（治安）について

平成30年度（11項目27問） 標本数 1,300 回収率 49.1%

- (1) 福島イノベーション・コースト構想について
- (2) 復興に関する情報発信について
- (3) チャレンジふくしま県民運動について
- (4) ユニバーサルデザインについて
- (5) 農林水産業について
- (6) 水に関する意識について
- (7) 水道水の放射線物質検査について
- (8) 公共交通について
- (9) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (10) 安全で安心な県づくりについて
- (11) 県総合計画について

平成29年度（9項目26問） 標本数 1,300 回収率 54.7%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 福島イノベーション・コースト構想について
- (3) 買い物環境について
- (4) 水に関する意識について
- (5) 農林水産業について
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (8) 安全で安心な県づくりについて
- (9) 県総合計画について

平成28年度（7項目26問） 標本数 1,300 回収率 54.3%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 農林水産業について
- (3) 生物多様性について
- (4) 高校教育について
- (5) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (6) 安全で安心な県づくりについて
- (7) 県総合計画について

平成27年度（8項目28問） 標本数 1,300 回収率 54.8%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 青少年の健全育成について
- (4) ユニバーサルデザインについて
- (5) 農林水産業について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成26年度（8項目28問） 標本数 1,300 回収率 57.0%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 食育について
- (4) 農林水産業について
- (5) 廃棄物対策について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成25年度（8項目24問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 救急医療について
- (4) 農林水産業について
- (5) 生物多様性について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成24年度（9項目33問） 標本数 1,300 回収率 60.7%

- (1) 環境について
- (2) 水に関する意識について
- (3) 子育て支援策について
- (4) 青少年の健全育成について
- (5) ユニバーサルデザインについて
- (6) ジェネリック医薬品（後発医薬品）について
- (7) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (8) 安全で安心な県づくりについて
- (9) 県総合計画について

平成23年度（7項目24問） 標本数 1,300 回収率 63.4%

- (1) 震災時及び現在における情報収集について
- (2) 男女共同参画の視点からの災害対応について
- (3) 心の健康について
- (4) 震災後の商業環境について
- (5) 芸術文化・スポーツ活動について
- (6) 震災後の県内の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて

平成22年度（8項目30問） 標本数 1,300 回収率 60.8%

- (1) 福島県農林水産物の消費拡大について
- (2) 地域社会の安全・安心について
- (3) 生活習慣病予防対策について
- (4) 水について
- (5) 生物多様性について
- (6) 廃棄物対策について
- (7) 福島県総合計画について
- (8) 安全で安心な県づくりについて

平成21年度（7項目30問） 標本数 1,300 回収率 65.1%

- (1) 福島県の農業・農村の振興について
- (2) 地域社会の安全・安心について
- (3) 食育について
- (4) 環境について
- (5) 青少年の健全育成について
- (6) 土地利用について
- (7) 福島県の新しい総合計画について

平成20年度（5項目28問） 標本数 1,300 回収率 64.2%

- (1) 安心・安全な県産農産物の生産拡大について
- (2) 地域社会の安全、安心について
- (3) 保健福祉関連事業について
- (4) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について
- (5) ユニバーサルデザインについて

平成19年度（5項目23問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 「ふくしま食と農の絆づくり運動」について
- (2) 警察活動について
- (3) 「がん」に関する意識について
- (4) 県庁の組織名及び職名について
- (5) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成18年度（6項目21問） 標本数 1,300 回収率 58.5%

- (1) 犯罪に関する意識について
- (2) 化学物質について
- (3) 有機農産物に対する認知度と消費動向について
- (4) 食育について
- (5) “うつくしま、ふくしま。” 県民運動について
- (6) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成17年度（6項目24問） 標本数 1,300 回収率 59.3%

- (1) 森林と県民生活について
- (2) 水について
- (3) 電子社会の推進と現状について
- (4) 運動・スポーツに関する実態について
- (5) ユニバーサルデザインについて
- (6) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成16年度（5項目27問） 標本数1,300 回収率61.8%

- (1) 安全に安心して暮らせる地域社会について
- (2) 地域温暖化防止のためのエコライフについて
- (3) 心の健康について
- (4) 文化に関する意識について
- (5) “うつくしま、ふくしま。”県民運動について

平成15年度（5項目34問） 標本数1,300 回収率62.2%

- (1) お米の消費実態と福島米への要望について
- (2) 交通安全教育について
- (3) 環境保全への取り組みについて
- (4) エネルギー政策について
- (5) 県政への要望について

平成14年度（4項目30問） 標本数1,000 回収率60.5%

- (1) 地産地消について
- (2) IT革命の現状と課題について
- (3) ボランティア活動について
- (4) 食品の安全確保について

平成13年度（6項目33問） 標本数1,000 回収率58.0%

- (1) ユニバーサルデザインについて
- (2) “うつくしま、ふくしま。”県民運動について
- (3) 環境保全について
- (4) 県民生活と森林づくり運動について
- (5) 新エネルギーについて
- (6) 人権問題について

平成12年度（4項目31問） 標本数1,000 回収率62.2%

- (1) 行政情報化について
- (2) 魅力ある観光地づくりについて
- (3) うつくしま未来博について
- (4) 運動・スポーツについて

平成11年度（6項目34問） 標本数 1,000 回収率 64.4%

- (1) 福島県の教育について
- (2) 高齢社会について
- (3) 住民参加について
- (4) 行財政改革について
- (5) 土地利用について
- (6) 県への要望について

平成10年度（6項目33問） 標本数 1,000 回収率 66.9%

- (1) 子育てについて
- (2) 生涯学習について
- (3) 安全な生活について
- (4) 魅力ある観光地づくりについて
- (5) 地方分権について
- (6) 県への要望について

令和6年度

# 県政世論調査

結果報告書

〈概要版〉

福島県 総務部 県民広聴室

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 (024) 521-7013